

# 日本育種学会 第104回講演会プログラム

## 2003年秋 神戸大学

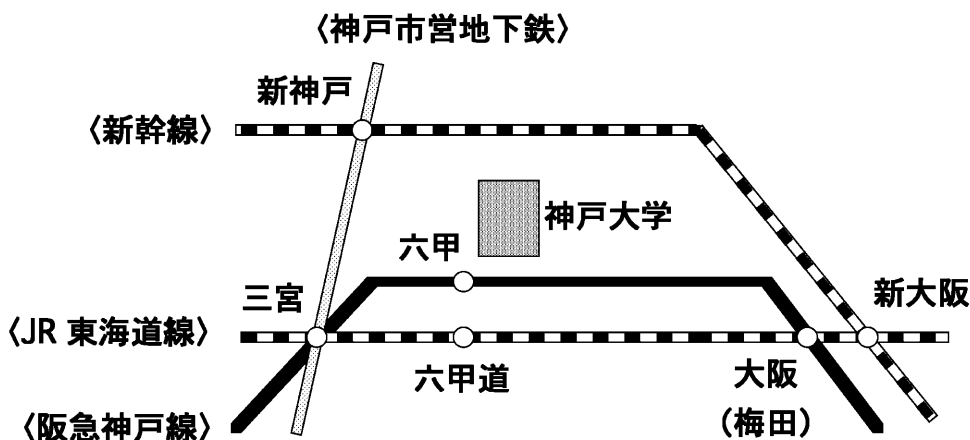
大会本部 (Tel: 090-1710-8695, 期間中のみ)

9月18日	午後	幹事会 14:00~18:00 (農学部A棟3階大会議室)
-------	----	-------------------------------

		第1会場 B209教室	第2会場 K202教室	第3会場 K201教室	第4会場 K302教室	第5会場 K301教室	第6会場 K402教室	第7会場 K401教室
9月19日	午前	ゲノム解析 101-115 9:00-12:00	遺伝子・蛋白質 201-215 9:00-12:00	遺伝子・蛋白質 301-308 9:00-10:36  育種情報 309-315 10:36-12:00	増殖 401-409 9:00-10:48  遺伝資源 系統分化 410-415 10:48-12:00	変異創成 501-515 9:00-12:00	抵抗性 品質成分 601-615 9:00-12:00	発育生理 701-715 9:00-12:00
	午後	シンポジウム 13:00~17:00 I 自家不和合性機構の多様性と育種への利用 II 植物の可動性遺伝因子 --- 転移機構, 進化, 応用 III オルガネラゲノム工学の新しい展開 IV 重イオンミュータジェネシスの特性と育種への展開  懇親会 18:00~20:00 (新神戸オリエンタルホテル, 10階 真珠の間)						
9月20日	午前	ゲノム解析 116-131 9:00-12:12	遺伝子・蛋白質 216-231 9:00-12:12	品種育成 316-331 9:00-12:12	遺伝資源 系統分化 416-431 9:00-12:12	変異創成 516-531 9:00-12:12	抵抗性 品質成分 616-631 9:00-12:12	発育生理 716-730 9:00-12:00
	午後	ゲノム解析 132-151 13:00-17:00	遺伝子・蛋白質 232-251 13:00-17:00	変異解析 332-351 13:00-17:00	遺伝資源 系統分化 432-448 13:00-16:24	変異創成 532-551 13:00-17:00	抵抗性 品質成分 632-646 13:00-16:00	グループ研究集会 17:10~19:10

9月21日	午後	市民公開シンポジウム 13:00~17:30 (神戸大学百年記念館六甲ホール)  生物多様性を生かすー品種改良の今と未来を考えるー 主任: 河野和男 (神戸大学農学部)	
		「但馬牛は世界の遺伝資源」 辻 荘一 (神戸大学農学部) 「食卓を豊かにする野菜の遺伝資源と育種」 加屋隆士 (タキイ種苗) 「酒造りと育種 - 「山田錦」を越えるために-」 荒巻 功 (酒類総合研究所) 「生活空間を豊かにする鑑賞植物の遺伝資源と育種」 鈴木賢一 (サントリーフラワーズ) 「世界の植物遺伝資源と育種」 金田忠吉 (国際農林業協力協会)	

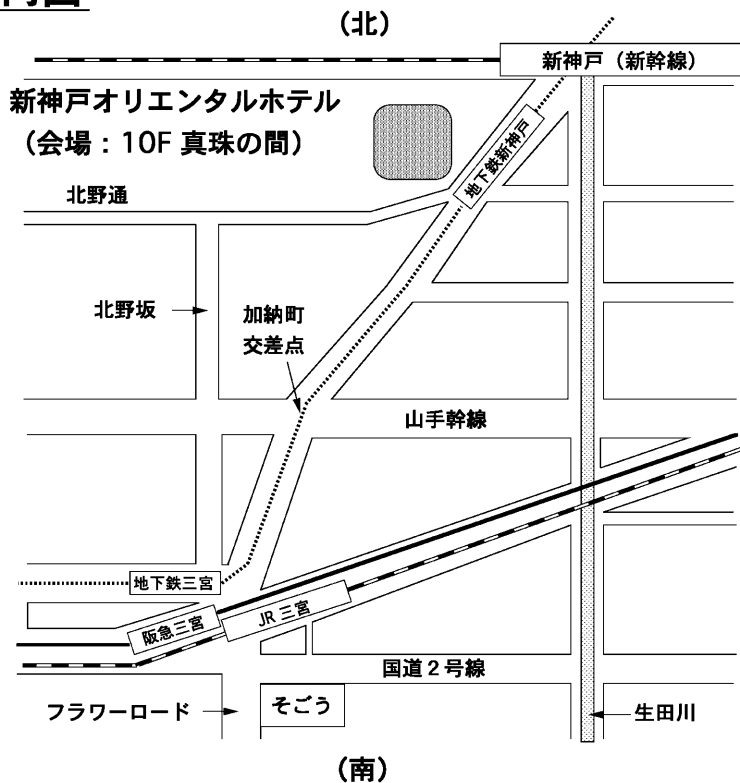
## 交通機関案内



### JR「六甲道」駅、阪急電車「六甲」駅への交通案内

- 1) JR「新大阪」駅、JR「大阪」駅より  
JR 東海道線にて、JR「新大阪」または「大阪」(快速約30分) JR「六甲道」。
- 2) JR「三宮」駅、阪急「三宮」駅より  
JR 東海道線にて、JR「三宮」(快速または普通約5分) JR「六甲道」。  
阪急神戸線にて、阪急「三宮」(急行または普通約8分) 阪急「六甲」。
- 3) JR「新神戸」駅より  
神戸市営地下鉄にて、「新神戸」(約2分) 「三宮」。「三宮」からは上記2)の経路を参照。
- 4) 阪急「梅田」駅より  
阪急神戸線にて、阪急「梅田」(特急約15分) 阪急「西宮北口」(普通に乗り換えて約15分) 阪急「六甲」。

## 懇親会場案内図



新神戸オリエンタルホテル(懇親会場)は、新幹線・地下鉄「新神戸」駅前にある高いビルです。  
なお、講演会場からはバスでお送りします。

# 会場案内図



## 一般講演会：神戸大学国際文化学部

JR「六甲道」駅、阪急電車「六甲」駅から神戸市バス16系統「六甲ケーブル下」行乗車、「神大国際文化学部前」下車（約15分、料金200円）。  
タクシーをご利用の場合には、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から1000円程度が必要です。

## 幹事会：神戸大学農学部

## 市民公開シンポジウム：神戸大学百年記念館

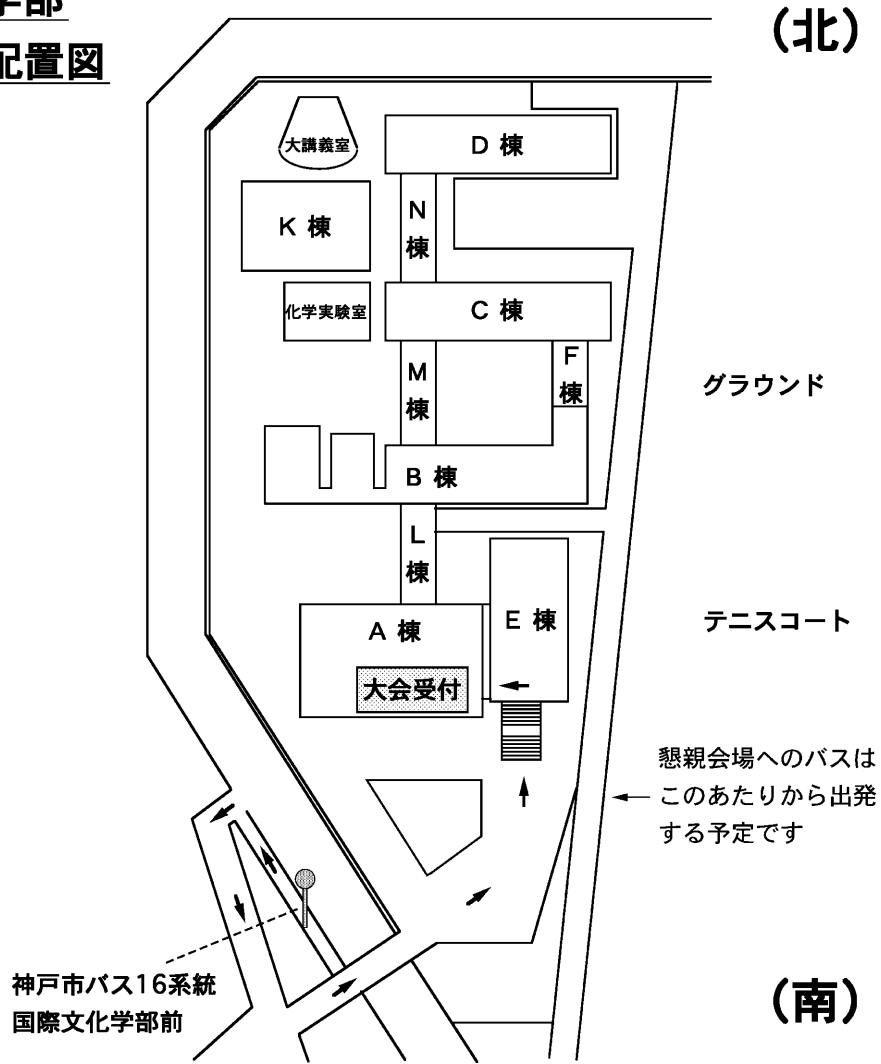
JR「六甲道」駅、阪急電車「六甲」駅から神戸市バス36系統「鶴甲団地」行乗車、「神大文理農学部前」下車（約10分、料金200円）。  
タクシーをご利用の場合には、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から、800円程度が必要です。

## JR「六甲道」駅、阪急電車「六甲」駅への交通案内

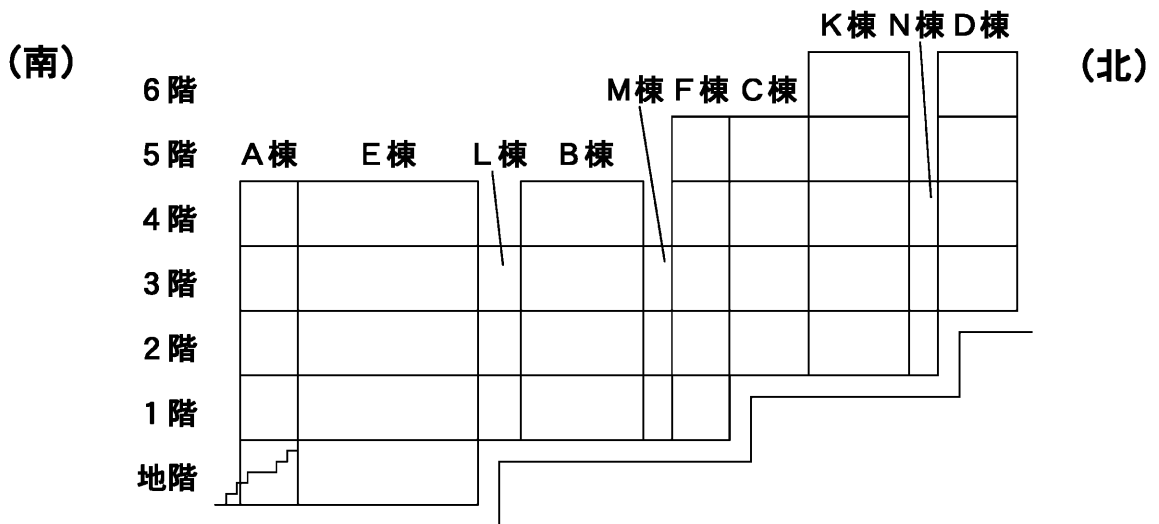
- 1) JR「新大阪」駅、JR「大阪」駅より  
JR東海道線にてJR「新大阪」、「大阪」（快速約30分）--- JR「六甲道」。
- 2) JR「三宮」駅、阪急「三宮」駅より  
JR東海道線にてJR「三宮」（快速または普通約5分）--- JR「六甲道」。  
阪急神戸線にて、阪急「三宮」（急行または普通約8分）--- 阪急「六甲」。
- 3) JR「新神戸」駅より  
神戸市営地下鉄にて、「新神戸」（約2分）--- 「三宮」。JR東海道線に乗り換えて、JR「三宮」（快速または普通約5分）--- JR「六甲道」。
- 4) 阪急「梅田」駅より  
阪急神戸線にて、阪急「梅田」（特急約15分）--- 阪急「西宮北口」（普通に乗り換えて約15分）--- 阪急「六甲」。
- 5) 大阪（伊丹）空港より  
空港リムジンバスにて、「大阪（伊丹）空港」（約40分）--- 「三宮」。  
JR東海道線に乗り換えて、JR「三宮」（快速または普通約5分）--- JR「六甲道」。

# 国際文化学部

## 建物配置図



## 建物断面図



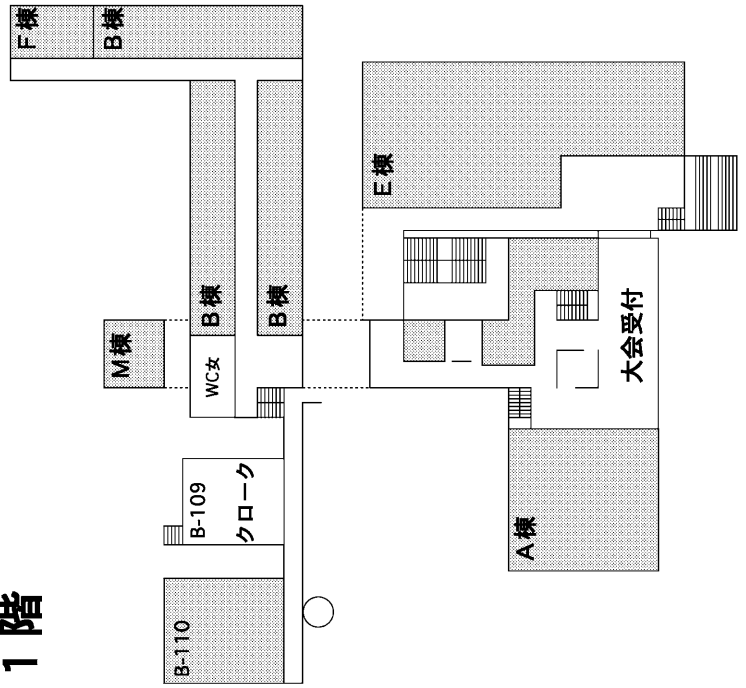
たくさんの教育棟がつながっており、かなり複雑な構造をしています。また、校舎は斜面に建てられているため、棟によっては1階部分がないところがあります。お気をつけ下さい。

# 講演会場案内図

国際文化化学部の1階, 2階部分ならびに  
K棟の3階, 4階部分を示しています。

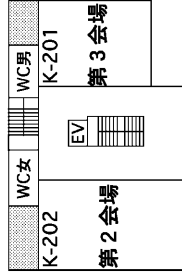


## 1階

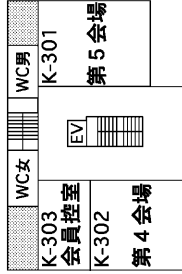


## 2階

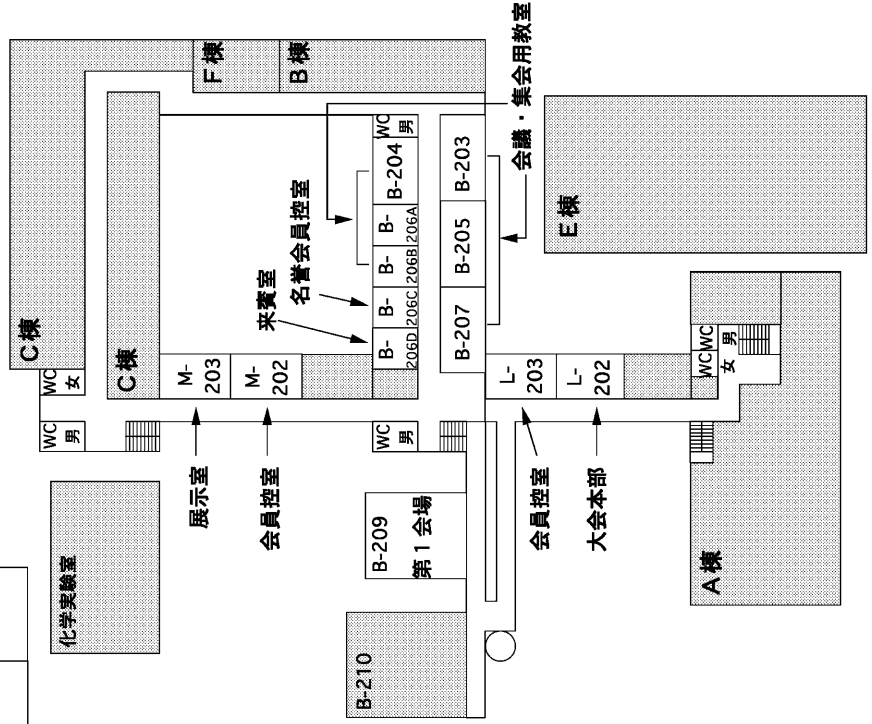
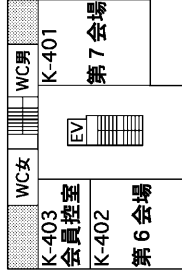
K棟



## (K棟3階)



## (K棟4階)



9月18日	幹事会 (農学部A棟3階大会議室)
14:00 ↓	
18:00	

1日目(9月19日)午前			
9月19日	第1会場 (B209教室)	第2会場 (K202教室)	第3会場 (K201教室)
	◆座長 土門英司(九州沖縄農研セ)	◆座長 高岩文雄(生物研)	◆座長 荻原保成(横浜市大木原生研)
9:00	101 エリンギのマイクロサテライト領域の単離 ○石井真1、星雅子2、稲富聡1、原田久也2(1.ホクト㈱、2.千葉大)	201 ビールオオムギ種子貯蔵蛋白質グルテリンおよびホルデインの遺伝変異 ○渡邊修孝1・長嶺敬1・池田達哉2・関和孝博1・加藤常夫1(1.栃木農試栃木分場、2.近中四農研)	301 作物育種に向けたcDNAマイクロアレイ技術の検討ー <i>Lotus burttii</i> × <i>L. japonicus</i> F1個体における遺伝子発現解析 ○生井深1・櫻井望2・桑田主税3・浅水恵理香2・田畑哲之2・柴田大輔2(1.栃木農試、2.かずさDNA研、3.千葉農総研)
9:12	102 アズキにおけるマイクロサテライトマーカーの開発 松尾明子1・○渡辺順平1・池田優子2・伊勢村武久3・石井尊生2・上島裕志2(1.神大院自然科学、2.神大農、3.生物研)	202 二次元電気泳動とゲル内リン酸化法を用いたイネ種子中のプロテインキナーゼ活性の検出 ○榎戸彩子・金勝一樹(農工大農)	302 オオムギcDNAマイクロアレイの試作 ○鈴木一1・笹沼恒男3・佐藤和広1・武田和義1(1.岡大資生研、2.CREST、3.横浜市大木原生研)
9:24	103 メロンにおけるSSRの解析 ○吹野伸子・國久美由紀・松元哲(農研機構野菜茶研)	203 小麦品質改良のための種子貯蔵蛋白質遺伝子の研究 VI.グルテン構成タンパク質のプロテオーム解析と対応する遺伝子の同定 池田達哉1、長嶺敬2、矢野博1(1.近中四農研、2.栃木農試)	303 トマト育種に向けたESTリソースの整備とアレイ解析 ○津金胤昭1、山本直樹2、Moez Toriki3、渡邊学2、前田ふみ2、本屋聡子1、桑田主税1、鈴木秀章1、西村繁夫3、丸論1、柴田大輔2(1.千葉農総研セ、2.かずさDNA研、3.筑波大)
9:36	104 ナスSSR濃縮ライブラリーの解析 ○布目司1・河野いづみ2・大山暁男1・福岡浩之1(1.野菜茶業研究所・2.STAFF研究所)	204 コムギ <i>Tamyb10</i> 遺伝子によるフラボノイド合成遺伝子群の発現制御 ○水見英子・野田和彦(岡山大学資生研)	304 イネmRNA 3' -UTRの発育段階及び器官特異性における多型の解析 ○阿部立也1、梅津将行1、佐藤浩二2、大友泰裕3、村上和雄3、松原謙一3、大里直樹4、河合純4、カルニンチ・ピエロ4、林崎良英4、鈴木宏史5、小島恵一5、高原美規1、菊池尚志2、山元皓二1(1.長岡技術大、2.生物研、3.国際化学振興財団、4.理研、5.日立ソフト(株))
9:48	105 ナスSSRマーカーの大量開発の試み ○河野いづみ1・並木信和1・金森裕之1・布目司2・福岡浩之2(1.STAFF研究所、2.野菜茶業研究所)	205 コムギの新しいポリフェノールオキシダーゼ(PPO)遺伝子の単離及びその染色体座位置 ○馬場利邦・水見英子・野田和彦(岡山大学資生研)	305 イネ完全長cDNAデータに見られるmRNAの3'非翻訳領域の多型はストレス処理によって引き起こされる ○梅津将行1、阿部立也1、佐藤浩二2、大友泰裕3、松原謙一3、村上和雄3、大里直樹4、河合純4、カルニンチ・ピエロ4、林崎良英4、鈴木宏史5、小島恵一5、高原美規1、菊池尚志2、山元皓二1(1.長岡技術科学大学、2.農業生物資源研究所、3.国際化学振興財団、4.理化学研究所、5.日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社)
	◆座長 福岡浩之(野菜茶業研)	◆座長 平野博之(東大農学生命)	◆座長 池田達哉(近中四農研)
10:00	106 オオムギESTに由来するPCR産物のマップ親における多型 ○佐藤和広1・南角奈美1,2・元井由加1,2・武田和義1(1.岡山大学資生研 2.CREST)	206 パンコムギの雌蕊におけるプロテオーム解析 ○浅見浩史1・梶原英之2・木庭卓人1(1.千葉大院自然科学、2.農業生物資源研究所)	306 コムギのゲノム科学XV. イネ科における多重遺伝子族 <i>rbcs</i> 遺伝子の発現パターンの比較 ○持田恵一1・川浦香奈子1・山崎由紀子2・荻原保成1(1.横浜市大・木原生研&院総理 2.遺伝研)
10:12	107 CAPSマーカーによるオオムギESTのマッピング ○南角奈美1,2・佐藤和広1・武田和義1(1.岡大資生研、2.CREST)	207 パンコムギ <i>AINTEGUMENTA</i> ホモログの単離と雌蕊化した雄蕊における発現解析 ○水本公大1・村井耕二2・中村千春1・宅見薫雄1(1.神戸大農、2.福井県大生物資源)	307 形質転換トマトを用いたメロンのエチレン受容体遺伝子 <i>Cm-ETR1</i> 及び <i>Cm-ERS1</i> のプロモーター解析 ○小屋綾子1・高田圭太1・江面浩2(1.筑波大生命環境、2.筑波大農林)
10:24	108 オオムギESTデータベース(HarVEST)を利用したPCRマーカーの作成 ○高橋秀和1・八重樫真澄1・赤木宏守1・森宏一1・武田真2・佐藤和広3・武田和義3(1.秋田県大生物資源、2.香川大農、3.岡大資生研)	208 アガパンサスの花被片および雄ざいの分化に関与するMADS-box遺伝子の解析 ○中村徹1・長谷部光泰2・中野優3・菅野明1・龜谷壽昭1(1.東北大院生命科学、2.基礎生物学研究所、3.新潟大農)	308 オオムギ特異的23kDaタンパク質(P23k)の発現解析 ○木藤新一郎・及川愛・江尻慎一郎(岩大農)
10:36	109 シバ属におけるSSRマーカーの開発と遺伝的多様性 ○橋口正嗣1・霍田真一2・松尾太陽1・高原学2・小林真2・赤峰光3・蝦名真澄4・明石良1(1.宮崎大農、2.畜草研、3.琉球大農、4.沖縄畜試)	209 コムギのゲノム科学XVI. パンコムギにおけるAP2ホモログのクローニング ○川浦香奈子・持田恵一・平野博子・森昌子・荻原保成(横浜市大・木原生研&院総理)	309 レイホウ×山田錦由来半数体倍加系統を用いた心白発現の解析 ○合田梢1・山田仁美2・高柳寛亮1・吉田晋弥3・池上勝3・高原美規1・山元皓二1(1.長岡技術科学大学、2.農業生物資源研究所、3.兵庫県立農林水産技術総合センター)
10:48	110 イネ近縁両親間雑種集団を用いた遺伝子マッピングのためのAFLPマーカーのSCAR、CAPS、PCR-RF-SSCPマーカーへの変換 ○白澤健太・岸谷幸枝・西尾剛(東北大院農)	210 源平咲きハナモモの花色の斑入り変異をつかさどる転写因子 ○植松千代美1・片山寛則2・Cathie Martin 3(1.大阪市大院理、2.神戸大食資源センター、3. John Innes Ctr.)	310 サクラソウにおける花色のパターン解析 ○吉岡洋輔1・岩田麻3・岩田洋佳2・大澤良3・二宮正士2(1.筑波大生命環境科学、2.中央農研、3.筑波大農林学系)

1日目(9月19日)午前

第4会場 (K302教室)	第5会場 (K301教室)	第6会場 (K402教室)	第7会場 (K401教室)
<p>◆座長 山岸 博 (京都産業大)</p> <p>401 アグロバクテリウムリゾゲネス感染によるキキョウ毛根誘導と増殖 ○吉川敦士・高原美規・山元皓二 (長岡技術科学大学・工)</p> <p>402 コショウランのPLB培養における外植片切断に対するPSR培地の有用性 ○白井唯之介・高原美規・山元皓二 (長岡技術科学大学)</p> <p>403 エゾリンドウ(<i>Gentiana triflora</i>)の薬培養による胚発生と植物体再生 土井寿子1・○高橋 亮2・日影孝志2・渡辺正夫1・高橋義人1 (1.岩手大農、2.安代町花き開発センター)</p> <p>404 洞遺伝子がオオムギ未熟胚由来カルスからの植物体再分化に及ぼす影響 ○力石和英・最相大輔・前川雅彦・武田和義 (岡大資生研)</p> <p>405 茎頂培養を利用したザゼンソウの大量増殖法 ○森真理・北村治哉・大谷博実 (滋賀県農総セ)</p>	<p>◆座長 福井希一 (大阪大院工学)</p> <p>501 バラ腋芽へのイオンビーム照射による花器変異系統の育成 ○原崎英1・北浦健生1・阿部知子2・阪本浩一2・宮沢豊2・吉田茂男2 (1.神奈川農総研、2.理研・植物機能)</p> <p>502 イオンビーム照射を用いた二酸化窒素吸収代謝能力が高いヒメイタビ植物の育成 ○高橋美佐1・Sueli Kohama1・近藤功明1・羽方 誠1・長谷純宏2・鹿園直哉2・田中 淳2・森川弘道1,3 (1.広島大院理、2.原研高崎、3.CREST)</p> <p>503 重イオンビーム照射によるシロイヌナズナ突然変異誘発における線種の影響 ○斉藤 宏之1・松山 知樹1・藤原 誠2・山本 義治1・阿部 知子1・吉田 茂男1 (1.理研中研植物機能、2.レスター大医学生物科学)</p> <p>504 コギクの突然変異育種Ⅰ。茎切片からの不定芽形成能と放射線照射の影響 ○鈴木一典1・高津康正1・郷内武1・宮沢豊2・斉藤宏之2・阿部知子2・霞正一1 (1.茨城生工研、2.理研中研)</p> <p>505 セイロンベンケイのγ線急照射による体細胞突然変異の誘発について ○関口文彦・秋山 幸 (日本女子大理)</p>	<p>◆座長 佐藤雅志 (東北大農)</p> <p>601 イネにおけるセシウム抵抗性とセシウム吸収に関する遺伝変異 ○奥ゆかり・長谷川博(滋賀県立大環境科学)</p> <p>602 ヨシカリウムトランスポーター (HAK、HKT) cDNAの単離と発現解析 ○高橋竜一・長岡修一・高野哲夫 (東大アジアセンター)</p> <p>603 アラビドプシス培養細胞のストレス誘導性遺伝子の発現解析とtwo-hybridスクリーニング ○長谷謙一・高野哲夫 (東大アジアセンター)</p> <p>604 環境ストレスに 대응する脂質輸送タンパク(LTP)の機能 ○五十嵐知之・高野哲夫 (東大アジアセンター)</p> <p>605 NAD代謝制御による複合ストレス耐性イネの分子育種 ○高橋秀行1・林光紀1・手塚修文2・内宮博文1 (1.東大分生研、2.名古屋大人間情報)</p>	<p>◆座長 奥本 裕 (京大農)</p> <p>701 虫媒受粉により評価したアブラナ科野菜自家不和合性程度に対する対立性検定 ○堀崎敦史・田中紀史・新倉聡 ((株) トーホク)</p> <p>702 <i>Brassica oleracea</i> と <i>Brassica rapa</i> の自家不和合性(S)遺伝子座の比較、及び <i>Brassica oleracea</i> に存在するレトロトランスポソンの多様性 ○藤本龍・西尾剛 (東北大院農学)</p> <p>703 ニホンナシの花粉で発現するF-box遺伝子の単離 ○鈴木雄介・佐々英徳・平野久 (横浜市大木原生研/院総合理学)</p> <p>704 ニホンナシにおけるS9-RNase cDNAのクローニングとS1-S9ハプロタイプを識別するPCR-RFLPシステムの確立 ○岡田和馬1・Carlos Castillo1・守友友紀1・齋藤寿広2・澤村豊2・乗岡尚子3・乗岡茂己3・高崎剛志4・中西テツ1,4 (1.神戸大院自然科学、2.農研機構果樹研、3.大阪大院生命機能、4.神戸大農)</p> <p>705 S-RNaseに基づくセイヨウナシ(<i>Pyrus communis</i> L.)品種のS遺伝子型の推定II S1~S12-RNaseを持つ品種 ○守友友紀1・高井良裕1・岡田和馬1・加藤秀一2・峯村万貴2・山近龍治2・伊藤大雄3・塩崎雄之輔3・中西テツ1・高崎剛志4 (1.神戸大院自然科学研究科、2.長野県果樹試、3.弘前大農生学、4.神戸大農)</p>
<p>◆座長 前川雅彦 (岡大資生研)</p> <p>406 国内イネ品種の自然交雑率に及ぼす出穂期、稈長、品種の差異等の影響の推定 ○矢頭治・青木秀之・重宗明子 (中央農研・北陸研究センター)</p> <p>407 アブラナ科野菜F1採種における応用生態学的研究。II. F1純度から見た有効な花粉散布距離 ○小沼明弘1・堀崎敦史・田中紀史・新倉聡2 (1.新潟大・院・自然科学、2.(株) トーホク)</p> <p>408 Effects of culture media and alternate temperatures on anther culture of salt tolerant indica rice cultivars. ○Javed, M. A.1, S. Misoo2, T. Ishii2, and O. Kamijima2 (1. Grad. Sch. Sci. Tech., Kobe U, 2. Fac. Agr., Kobe U)</p> <p>409 フェストロリウムにおける薬培養と薬培養由来二倍体と四倍体における核DNA量の変異 ○郭仰東・山田敏彦 (北海道農研)</p>	<p>◆座長 向井康比己 (大阪教育大)</p> <p>506 易変異系統、赤毛で活性を示すトランスポソンの特徴について ○今井克則1・石川隆二1・千葉琢磨1・千田峰生2・赤田辰治2・原田竹雄1・新開 稔1 (1. 弘大農学生命、2. 弘大遺伝子実験施設)</p> <p>507 DNAを用いた線量計開発に関する基礎的研究 福井希一1・大塚和孝2・松永幸大1 (1. 阪大院工学、2. 森永乳業)</p> <p>508 シロイヌナズナを用いた放射線誘発突然変異の解析II ○内藤健1、2、草場信2、鹿園直哉3、高野敏弥2、谷坂隆俊1、田中淳3、西村実2 (1. 京都大学大学院農学研究科、2. 農業生物資源研究所、3. 日本原子力研究所高崎研究所)</p> <p>509 ナリソミック5Bによって誘発したコムギオオムギ5H組換え染色体の細胞学的同定 ○武田 真1、粟山貴也1、一井眞比古1、砂川 誠2、河原友子2、村井耕二2 (1. 香川大学農、2. 福井県立大生物資源)</p>	<p>◆座長 長谷川博 (滋賀県大)</p> <p>606 塩水付加水田で検出されたイネ葉身のBronzing発生に関わるQTLの確認とその特性解析 ○竹久紀奈子・亀谷寿昭・佐藤雅志 (東北大院生命科学)</p> <p>607 イネ科植物の耐塩性分化 4) 海水耐性関連遺伝子の選抜とイネ耐塩性育種 ○遠藤昇・吉田光毅・秋吉美穂・吉田泰子 (大成技術センター)</p> <p>608 イネ科植物の耐塩性分化 5) 海水耐性シバ由来遺伝子を導入したイネの実用的耐塩性向上 ○秋吉美穂・吉田光毅・吉田泰子・遠藤昇 (大成技術センター)</p> <p>609 ダイズ子実中のカドミウム濃度に品種間差は存在するのかわ ○杉山恵1・阿江教治1・羽鹿牧太2・荒尾知人3 (1. 農環研、2. 作物研、3. 技術会議)</p> <p>610 大豆種子中へのカドミウム蓄積量の品種間差異 ○羽鹿牧太1、杉山恵2、阿江教治2、高橋幹1、島田信二1、高橋浩司1、湯本節三3、矢ヶ崎和弘4 (1.作物研、2.農環研、3.東北農研、4.中農農試)</p>	<p>◆座長 佐々英徳 (横浜市大木原)</p> <p>706 トウモロコシMS45のイネ類似遺伝子、OsMS45の機能解析 ○小宮怜奈・西尾剛 (東北大学院農学)</p> <p>707 ミヤコグサにおける雄蕊特異的遺伝子の時間的、空間的<i>in situ</i> 発現解析 ○増子潤美1・遠藤誠1,2・箱崎宏和1・斎藤寛1・鎌田源司2・高橋秀幸2・東谷篤志2・渡辺正夫1 (1.岩手大農 農業生命、2.東北大院 生命科学 生態システム)</p> <p>708 ミヤコグサにおける花粉特異的遺伝子S-adenosyl-L-homocysteine hydrolaseの機能解析 ○箱崎宏和1・遠藤誠1・増子潤美1・Park Jong In1・伊藤仁1,2・内田正則1,3・斎藤寛1・東谷篤志4・渡辺正夫1 (1. 岩手大学農学部、2. 福島明成高校、3. 相馬農業高校、4. 東北大院生命科学)</p> <p>709 シロイヌナズナにおける花粉特異的RNA結合タンパク質遺伝子の同定 ○Prak Jong In1・遠藤誠2・増子潤美1・箱崎宏和1・斎藤寛1・東谷篤志4・渡辺正夫1 (1. 岩手大学農学部、2. 東北大院生命科学)</p> <p>710 <i>Brassica rapa</i> おそめ系統とトルコ系統間で起こる同一種内不和合性に関する遺伝学的解析 ○高田美信1・中野渡高之1・佐藤純1・柿崎智博1・菊田利奈1・鈴木剛2・柴博史3・高山誠司3・磯貝彰3・渡辺正夫1 (1. 岩手大農、2. 大阪教育大、3. 奈良先端大バイオ)</p>
<p>◆座長 石川隆二 (弘前大農)</p> <p>410 日本のダイコンの起源と分化 V. 葉緑体のtrnL/trnF領域における塩基配列の品種間変異 ○尾崎昭子・石橋篤志・山岸 博 (京都産大工)</p>	<p>510 ガンマ線照射したリンゴの花粉をニホンナシに授粉して得られた実生の特徴づけ ○井上栄一1・霞正一2・安西弘行1・原弘道3・月橋輝男3 (1. 茨大遺伝子、2. 茨城生工研、3. 茨大農)</p>		

1日目(9月19日)午前			
9月19日	第1会場 (B209教室)	第2会場 (K202教室)	第3会場 (K201教室)
11:00	<p>◆座長 川崎信二 (生物研)</p> <p>111 DNAマーカーによるイチゴ品種間多型のカタログ化 ○國久美由紀・松元哲・吹野伸子 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>◆座長 寺地 徹 (京都産業大)</p> <p>211 ミトコンドリアの形態に関わる酵母MDM37、MDM35 遺伝子の高等植物ホモログの機能解析 ○相田元・有村慎一・中園幹生・堤伸浩 (東大院農学生命科学)</p>	<p>◆座長 佐藤和広 (岡山大資生研)</p> <p>311 SNP分析によるイグサ品種識別法の開発と実用化 ○斎藤彰・土門英司・木村貴志 (農業技術研究機構, 九州沖縄農業研究センター)</p>
11:12	<p>112 PCR-based SNP判別マーカーを適応した米一粒の品種識別 ○田淵宏朗1・林敬子1・濱給里子2・芦川育夫1 (1.中央農研, 2.石川農研セ)</p>	<p>212 ミトコンドリア分裂に関与する酵母FIS1 遺伝子の高等植物ホモログの解析 ○森麻奈・有村慎一・中園幹生・堤伸浩 (東大院農学生命科学)</p>	<p>312 AFLP分析によるイグサ品種“ひのみどり”の識別 ○飯牟禮和彦1・深浦社一1・齋藤彰2 (1.熊本農研セ, 2.九州農セ)</p>
11:24	<p>113 トランスポゾンディスプレイ法によるmPing 転移のモニタリング ○松井和幸1・堀端章1・奥本裕2・中崎鉄也2・谷坂隆俊2 (1.近大生物理工, 2.京大院農学)</p>	<p>213 高等植物ミトコンドリアの分裂および融合に関する遺伝子の探索 高曉歌1・○有村慎一1・平野博之1・坂本亘2・堤伸浩1 (1.東大院農学生命科学, 2.岡大資生研)</p>	<p>313 SSR分析によるイグサ品種識別法の開発 ○土門英司・木村貴志・斎藤彰 (農業技術研究機構, 九州沖縄農業研究センター)</p>
11:36	<p>114 コムギSINEマーカーの開発 ○斎藤佳言1・河原太八1・森正之2・安井康夫1 (1. 京大院農学, 2. 石川農研)</p>	<p>214 Structural diversity and role of the wheat alternative oxidase gene during seed germination ○Nayden Naydenov・宅見薫雄・中村千春 (神戸大農・院自然科学)</p>	<p>314 制限酵素ランドマークゲノムスキャニング (RLGS) 法によるイグサ品種識別 ○奥泉久人1・高宮知子12・岡本裕行1・高橋佐久子1 (1.生物研, 2.東京理科大)</p>
11:48	<p>115 コムギ連のトランスポゾン様因子Rev を利用した染色体マーカー ○富田因則・中村広樹 (鳥取大農)</p>	<p>215 イネの根の伸長成長を制御するRT 遺伝子の解析 ○大飼義明1・佐藤かなん2・三輪雅美3・芦苜基行1・片山義博2・北野英己1・松岡 信1 (1.名大生物機能開発利用研究センター, 2.東京農工大院生物システム応用科学, 3.名大院生命農学)</p>	<p>315 ISSR-PCR法によるイグサ品種識別 ○矢野 博・池田達哉 (近中四農研)</p>

1日目(9月19日)午後			
9月19日	第1会場 (B209教室)	第2会場 (K202教室)	第3会場 (K201教室)
	<p>シンポジウムI 自家不和合性機構の多様性と育種への利用</p>	<p>シンポジウムII 植物の可動性遺伝因子 --- 転移機構, 進化, 応用</p>	<p>シンポジウムIII オルガネラゲノム工学の新しい展開</p>
13:00 ↓ 17:00	<p>主任: 神山康夫 (三重大学) 西尾 剛 (東北大学)</p>	<p>主任: 谷坂隆俊 (京都大学) 平野博之 (東京大学)</p>	<p>主任: 山岸 博 (京都産業大学)</p>
1	はじめに 神山康夫 (三重大学)	1 はじめに	1 はじめに 山岸博 (京都産業大学)
2	2 アブラナ科植物の自家不和合性における自他識別機構 高山誠司 (奈良先端大学院大学)	2 シロイヌナズナ転移因子のエピジェネティックな制御 角谷徹仁 (遺伝学研究所)	2 ミトコンドリア全塩基配列情報から見た細胞質雄性不稔性: 「雄殺し遺伝子」はいかに出現するか 久保友彦, 三上哲夫 (北海道大学)
3	3 バラ科植物における自家不和合性機構の解析 佐々英徳 (横浜市立大学)	3 トランスポゾンMITEのイネ植物体における可動 中崎鉄也 <sup>1</sup> ・奥本裕 <sup>1</sup> ・堀端章 <sup>2</sup> ・谷坂隆俊 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学, <sup>2</sup> 近畿大学)	3 イネミトコンドリアゲノム: ゲノム構造の多様性と遺伝子発現の複雑性 門脇光一 (農業生物資源研究所)
4	4 S-Locus genes and self-recognition in Solanaceae Teh-hui Kao (Penn State University, USA)	4 Ping-mPing トランスポソンの転移メカニズム 菊池一浩 <sup>1</sup> , 平野博之 <sup>2</sup> , 和田正三 <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> 基礎生物学研究所, <sup>2</sup> 東京大学, <sup>3</sup> 東京都立大学)	4 ナタネミトコンドリアに存在する2つのDNA分子 半田裕一 (農業生物資源研究所)
5	5 The targets of the SI signalling cascades indicate mechanisms involved in self-incompatibility in <i>Papaver rhoeas</i> V. E. Franklin-Tong (University of Birmingham, UK)	5 イネの新規DNAトランスポゾン 前川雅彦 <sup>1</sup> , 榎根一夫 <sup>1</sup> , 飯田滋 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 岡山大学, <sup>2</sup> 基礎生物学研究所)	5 シロイヌナズナを用いた体細胞雑種におけるオルガネラゲノム 山岸 博 (京都産業大学)
6	6 ヒルガオ科植物におけるS 遺伝子座領域の解析 神山康夫 (三重大学)	6 イネ・レトロトランスポソンを利用した遺伝子破壊 廣近洋彦 (農業生物資源研究所)	6 タバコ葉緑体の形質転換による生産力の改良 佐々木幸子 (株)コンボン研究所)
7	7 自家不和合性遺伝子の育種への利用 西尾 剛 (東北大学)	7 レトロポゾン p-SINE1 の挿入の有無に基づいた栽培イネと野生イネの系統の解析 大坪栄一 (東京大学)	7 葉緑体形質転換: 転写制御研究からの提案 椎名隆 <sup>1</sup> , 石崎陽子 <sup>1</sup> , 角山雄一 <sup>2</sup> (1 京都府立大, 2 京都大学)
8	8 総合討論 西尾 剛 (東北大学)	8 総合討論	



1日目(9月19日)午前

第4会場 (K302教室)	第5会場 (K301教室)	第6会場 (K402教室)	第7会場 (K401教室)
<p>◆座長 石川隆二(弘前大農)</p> <p>411 日本のダイコンの起源と分化VI.ミトコンドリア <i>atp6</i> の3領域における構造変異 ○山岸 博・佐々木淳子(京都産大工)</p> <p>412 日本在来ダイズ品種の農家維持系統とジーンバンク系統とのDNAマーカーおよび形態による比較 ○江花薫子1・Muhammad-Reza Abasi2・福岡修一1・長峰司1(1.生物研、2.イラン国立植物ジーンバンク)</p>	<p>◆座長 安西弘行(茨城大遺伝子)</p> <p>511 <i>trans-Δ11,cis-Δ13</i>-二重結合を持つ共役脂肪酸(ブニカ酸)の生成に関わるコンジュゲースのイネでの発現 ○河野(村瀬)淳子・岩淵万里・今村順(植物工学研究所)</p> <p>512 ゲノム融合によるイネの分子育種 III. コムギHa遺伝子座領域のイネへの導入 ○中野亜紀子1・鈴木剛1・山本真紀2・向井康比己1(1.大阪教育大、2.関西福祉科学大)</p>	<p>◆座長 福岡修一(生物研)</p> <p>611 根こぶ病抵抗性ハクサイ品種、'ひろ黄'、'隆徳'を用いた根こぶ病菌群の病原性分類 ○島山勝徳、藤村みゆき、石田正彦、鈴木徹(農研機構野菜茶研)</p> <p>612 種属間交雑によるアブラナ科作物の病害抵抗性育種素材の作出。I. 栽培種と近縁野生種およびその雑種後代における根こぶ病抵抗性の評価 ○石塚美帆1・房 相佑1・小豆畑二美夫2・新倉聡2・金子幸雄1・松澤康男1(1.宇大農、2.(株)トーホク)</p>	<p>◆座長 長戸康郎(東大農学生命)</p> <p>711 雄ざいが雌ざい化する細胞質置換コムギ系統における <i>DL</i> 相同遺伝子およびMADSボックス遺伝子の発現解析 ○平林千鶴1・濱絵里子1・宅見薫雄2・萩原保成3・石川元一4・平野博之4・村井耕二1(1.福井県大生物資源、2.神戸大農、3.横浜市大木原生研、4.東大農学生命科学)</p> <p>712 コムギ <i>APETALA1</i> 相同遺伝子 <i>WAP1</i> は春播性遺伝子 <i>Vrn-A1, -B1, -D1</i> の候補遺伝子である ○村井耕二1・宮前真美子1・加藤裕美1・五十里千尋1・宅見薫雄2・萩原保成3(1.福井県大生物資源、2.神戸大農、3.横浜市大木原生研)</p>
<p>◆座長 武田和義(岡山大農生研)</p> <p>413 日本のツルマメにおけるKunitz型トリプシンインヒビターの多型性 ○王 克晶1、高畑義人1、河野雄飛2、渡辺正夫1、海妻矩彦1(1.岩手大農、2.東北農研センター)</p> <p>414 Sattマーカーを利用したダイズ品種(エダマメ用登録品種および輸入加工品)の品種識別 ○小曾納雅則・木村鉄也・伴義之(種苗管理センター)</p> <p>415 東南アジアにおける種子稔性の低い <i>O.rufipogon</i> の分布 ○佐藤洋一郎1・黒田洋輔2(1.静大農、2.京大ASAFAS)</p>	<p>513 キメラプラストを用いた遺伝子ターゲティングによるALS-塩基置換イネの作出 ○奥崎文子・鳥山欽哉(東北大院農学)</p> <p>514 除草剤耐性イネG2-70系統で認められた形態変異(草型・心白)の遺伝的評価 ○辻孝子1・杉浦直樹2・加藤恭宏1・井澤敏彦1・柏原洋司3(1.愛知農総試、2.愛知県農大、3.日本モンサント)</p> <p>515 除草剤耐性イネ系統の不耕起直播栽培への適用による雑草防除効果 ○辻孝子1・○井澤敏彦1・吉田朋史1・柏原洋司2(1.愛知農総試、2.日本モンサント)</p>	<p>613 ビーマン近縁種で見出されたCMV抵抗性のビーマン栽培種への導入 ○齊藤猛雄1・吉田建実2・斎藤新1(1.野菜茶研、2.農研機構本部)</p> <p>614 RX1遺伝子特異的PCRプライマーを利用したジャガイモXウイルス抵抗性品種「Atlantic」のPCR-RFLP分析 ○大林恵吾・小村国則(長崎県総合農林試験場)</p> <p>615 タバコ種間雑種 (<i>Nicotiana glauca</i> × <i>N. tabacum</i> L.) 葉面クチクラ成分に含まれる糖エステルのモモアシアラムシ殺虫効果 ○畑中一郎・月森敦之・井上雅好(京府大院農学)</p>	<p>713 組換え自殖系統を利用したイネゲノム分化の解析。I. 1,2染色体の分化パターンとQTLsの関係 ○石郷岡典子・高木恭子・堀内優貴・黄島祐治・大西一光・佐野芳雄(北大院農)</p> <p>714 組換え自殖系統を利用したイネゲノム分化の解析。II. 第7染色体に見いだされた野生イネを特徴付けるQTLクラスター ○堀内優貴・石郷岡典子・高木恭子・長野宏則・大西一光・佐野芳雄(北大院農)</p> <p>715 密接に連鎖するオオムギ小穂非脱落性遺伝子 <i>btr1</i> および <i>btr2</i> の高密度連鎖地図作製 ○小松田隆夫1,2、間野吉郎3、Petre Maxim1、Natesan Senthil1(1.生物研、2. CREST、3. 畜草研)</p>

1日目(9月19日)午後

第5会場 (K301教室)

シンポジウムIV

重イオンミュタジェネシスの特性と育種への展開

主任：阿部知子(理化学研究所)

- はじめに  
阿部知子(理化学研究所)
- 重イオン加速器施設の生物利用  
矢野安重、福西暢尚(理化学研究所)
- 重イオンビーム誘発突然変異の特徴  
田中淳(日本原子力研究所)
- 重イオン照射によるコムギ染色体切断  
辻本 壽(鳥取大学)
- ソバ属植物の重イオン照射の生物効果  
森下敏和(農業生物資源研究所)
- 重イオンビームの突然変異育種への利用  
阿部知子(理化学研究所)
- 重イオン照射による花卉園芸植物の商品化  
鈴木賢一、宮崎潔、田中隆治、久住高章(サントリーフラワーズ)

2日目(9月20日)午前

9月20日	第1会場 (B209教室)	第2会場 (K202教室)	第3会場 (K201教室)
9:00	<p>◆<b>座長 富田剛則 (鳥取大農)</b></p> <p>116 メロンにおける染色体乗り換え頻度の性による違い ○飯屋博敏・衛藤成臣・岩井純夫 (鹿大農)</p>	<p>◆<b>座長 高野哲夫 (東大アジアセ)</b></p> <p>216 アラビドプシスにおいて、アデニレート・トランスクレーターは塩耐性に関与する ○後藤文之1,2、H. Koiwa3、A. Rus2、RA Bressan2、PM Hasegawa2 (1.電中研、2. Purdue U.、3. Texas A&amp;M U)</p>	<p>◆<b>座長 新倉 聡 (トーホク)</b></p> <p>316 テンサイ根腐病抵抗性系統に対する抽苔耐性選抜の効果 ○大湯直樹・田口和憲・中司啓二 (北海道農研)</p>
9:12	<p>117 <i>Brassica rapa</i> における連鎖地図の作製と根こぶ病抵抗性に関するQTL解析 ○諏訪部圭太1・塚崎 光1・池谷祐幸2・畠山勝徳1・藤村みゆき1・近藤正敏1・布目 司1・福岡浩之1・平井正志3・松元 哲1 (1.野菜茶業研究所、2.農業技術研究機構本部、3.京都府大農)</p>	<p>217 ペレニアルライグラス(<i>Lolium perenne</i> L.)におけるフルクタン合成に関与する遺伝子の単離および低温馴化過程における発現解析 ○久野 裕1・金澤 章1・中嶋 博2・喜多村 啓介1、山田 敏彦3 (1.北大院農、2.北大北方生物圏セ、3.北海道農研)</p>	<p>317 小麦新品種「きぬの波」,「ダブル8号」の育成 ○高橋利和・成塚彰久・大沢実・折茂佐重樹 (群馬県農業技術センター)</p>
9:24	<p>118 SSR、RFLPおよびAFLPマーカーによるアズキ連鎖地図の作成 ○伊勢村武久・Ouk K. Han・加賀秋人・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan (生物研)</p>	<p>218 コムギにおける塩ストレス応答性遺伝子Mloの構造及び発現解析 ○小西省吾・根本泰江・笹沼恒男・色隈哲夫 (横浜市大木原生研・院総理)</p>	<p>318 製めん特性の優れた早生・短秆コムギ品種「ふくさやか」の育成 ○谷中美貴子1・石川直幸1・長藤敬2・高山敏之1・田谷省三3・甲斐由美4・谷尾昌彦5・佐藤淳一6・村上泰臣6・住田哲也6 (1.近中四農研、2.栃木農試、3.作物研、4.九沖農研、5.国際農研、6.元中国農試)</p>
9:36	<p>119 Ant Colony Optimizationの連鎖地図作成への応用 ○岩田洋佳・二宮正士 (中央農研)</p>	<p>219 パンコムギRAB遺伝子群の低温誘導性の解析 ○小林史典1・宅見薫雄1・中村俊樹2・中村千春1 (1.神戸大農、2.東北農研セ)</p>	<p>319 フキの新品種「大阪農研育成1号」 ○岩本 嗣 (大阪食とみどり技セ)</p>
9:48	<p>◆<b>座長 岩井純夫 (鹿児島大農)</b></p> <p>120 HEGS (High efficiency Genome Scanning)/AFLPによるミヤコグサGifu B-129 と Miyakojima MG-20の高密度連鎖地図 ○王 新望1・清水 顕史1・村上 泰弘1・今泉(安楽)温子1・佐藤 修正2・田畑 哲2・川崎 信二1 (1.生物研、2.かずさDNA研究所)</p>	<p>◆<b>座長 赤田辰治 (弘前大農)</b></p> <p>220 カドミウムストレス下のヘビノネゴザにおけるファイトキレーション合成酵素遺伝子発現量の解析と二次元電気泳動によるカドミウムストレス応答性タンパク質の探索 ○荒島由季1、2・吉原利一1・後藤文之1・島田浩章2 (1.電中研 生物科学、2.東京理科大 基礎工)</p>	<p>◆<b>座長 高橋利和 (群馬農技セ)</b></p> <p>320 ジベレリン処理による、ツバキ遠縁交配稔性の向上 山口 聡 (愛大農)</p>
10:00	<p>121 FISH法を用いたミヤコグサ第1、2染色体の解析 ○橋本涉1・向井康比己2・鈴木剛2・佐藤修正3・田畑哲之3・林正紀1・原田久也1 (1.千葉大院自然科学、2.大阪教育大学、3.かずさDNA研究所)</p>	<p>221 コムギのゲノム科学。XVII.ストレス処理をした組織由来ESTの大量解析 ○荻原保成1・持田恵一1・川浦香奈子1・根本泰江1・村井耕二2・山崎由紀子3・新井理3・小原雄治3 (1.横浜市大・木原生研、2.福井県大・生物資源、3.遺伝研)</p>	<p>321 普通ソバとダツタンソバの雑種後代における花型変異 ○我妻尚広・岡本吉弘 (酪農大)</p>
10:12	<p>122 反復配列ならびにTACクローンをを用いたミヤコグサ染色体物理地図の作製 石丸彰子1・坂口容子1・佐藤修正2・田畑哲之2・林誠3・福井希一3・近江戸伸子1 (1.神戸大発達科学、2.かずさDNA研、3.阪大工学研究科)</p>	<p>222 ダッチアイリスにおけるアントシアニン5-グルコシルトランスフェラーゼのcDNAクローニング ○今山輝之1・吉原法子2・水谷正子3・田中良和4・井野部男5・数谷勤2 (1.鹿児島大、2.宮崎大農、3.サントリーフラワーズ、4.サントリー先進技術応用研、5.宮崎大教文)</p>	<p>322 ビール大麦における剥皮粒検定法の開発および剥皮粒発生と穀皮形態との関係 ○塚崎守啓・内村要介・古庄雅彦 (福岡農総試)</p>
10:24	<p>123 ハマニクニク属種間雑種における染色体対合の解析 ○岸井正浩・辻本壽 (鳥取大学農)</p>	<p>223 ウンシュウミカンの香気に関与する(E)-β-オシメン合成酵素遺伝子の単離と解析 ○島田武彦1・遠藤朋子1・藤井浩1・原正和2・上田高則1・大村三男1 (1.農研機構果樹研、2.静大農学人間環境科学)</p>	<p>323 小麦における穂の形態からみた品質低下の要因解明 ○内村要介・佐藤大和・尾形武文・松江勇次 (福岡農総試)</p>
10:36	<p>◆<b>座長 辻本 壽 (鳥取大農)</b></p> <p>124 アスパラガスBACライブラリーの作製 ○鈴木剛1・伊藤卓朗2・落合利紀2・中田睦2・菅野明2・亀谷寿昭2 (1.大阪教育大、2.東北大院生命科学)</p>	<p>◆<b>座長 木藤新一郎 (岩手大寒冷バイオ)</b></p> <p>224 紫外線UV-B応答するダイズMYB29転写因子の機能解析 ○赤田辰治1・北嶋洋志2・千田峰生1・石川隆二2・原田竹雄2・新開稔2 (1.弘大遺伝子実験施設、2.弘大農学生命)</p>	<p>◆<b>座長 塚崎 光 (野菜茶業研)</b></p> <p>324 ばれいしょポテトチップス用品種「きたひめ」の開発 安田慎一 (ホクレン農総研)</p>
10:48	<p>125 overgo probesを用いたイネ物理地図上のgap-filling ○佐治章子・呉健忠・片寄裕一・片桐敏・梅根美佳・唐沢涉・吉原里枝・伊藤和江・小林春美・松本隆・佐々木卓治 (生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム)</p>	<p>225 師部からクローニングされた新規遺伝子の解析 草野博彰1,2・浅野敏幸1・島田浩章2・門脇光一1 (1.農業生物資源研、2.東京理科大・生物工)</p>	<p>325 β-カロテンを含む調理・青果用サツマイモ新品種「九州134号」の育成 ○甲斐由美1・中澤芳則1・熊谷享1・石黒浩二1・片山健二1・吉永優2・山川理1 (1.九州沖縄農研、2.農林水産技術会議)</p>
11:00	<p>126 イネゲノム塩基配列解析の進捗状況 ○目黒文乃・藤澤雅樹・濱田昌雄・細川聡美・中村まり・山形晴美・藤下さおり・根岸真奈美・伊藤幸恵・宮内友子・神谷祐・林並貴子・福中理絵・中間裕子・小野望・水林達美・栗田加奈子・阪口菜留・町田佳代・菊田有里・遠久美子・藤藤毅人・藤澤菜穂子・山根弘子・酒井久美子・長田夕子・宋健倫・金森裕之・並木信和・片寄裕一・松本隆・佐々木卓治 (生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム)</p>	<p>226 ヨシ(<i>Phragmites australis</i>)高親と性硝酸イオントランスポーター遺伝子(reed NRT2)の3'-UTRの塩基配列 ○荒木良一・森正之2・森真理3・長谷川博1 (1.滋賀県立大環境科学、2.石川県農業短大農資研、3.滋賀県農業総合センター)</p>	<p>326 1分間DNA抽出法を用いたバレイシヨ育種におけるDNAマーカー選抜 ○森 一幸1・小村昌則1・保坂和良2 (1.長崎県総合農林試験場、2.神戸大食資源センター)</p>
11:12	<p>127 イネ第7染色体のアノテーション進捗状況 ○柴田未知恵・島野淳子・増川正敏・B. A. Antonio・伊藤幸代・伊藤裕一・山本麻裕・並木信和・松本隆・佐々木卓治 (生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム)</p>	<p>227 イネPR-3キチナーゼのドメイン構造が酵素活性および抗菌活性におよぼす効果 ○柴山拓司1・中崎健也1・寺地徹2・田中千尋1・三上文31・奥本裕1・谷坂隆俊1 (1.京大院農、2.京産大工)</p>	<p>327 テンサイ根腐病抵抗性に関する実現遺伝率及び実用形質との関係 ○田口和憲・大湯直樹・中司啓二 (北海道農研)</p>

2日目(9月20日)午前

第4会場 (K302教室)	第5会場 (K301教室)	第6会場 (K402教室)	第7会場 (K401教室)
<p>◆座長 武田 真 (香川大農)</p> <p>416 中東地域における野生4倍性コムギの遺伝的多様性についてのAFLP分析 ○笹沼恒男1・Kamel Chabane 2・Jan Vaikoun 2 (1.横浜市大木原生研、2.ICARDA)</p> <p>417 祖先2倍種の葉緑体DNAにおける分子多型からみた4倍性コムギの起源 ○綿谷浩之1、石井尊生1、河原太八2、山根京子2、中村千春1、森直樹1 (1.神戸大農、2.京大大学院)</p> <p>418 コムギ近縁野生種 <i>Dasypyrum breviaristatum</i> の自然集団に見られた異数性個体の出現機構 ○大田正次・細川由貴 (福井県大生物資源)</p> <p>419 単子葉植物の葉緑体比較ゲノミクス: サトウキビ葉緑体ゲノム構造の特徴 浅野敬幸1・横伯彦2・○高橋咲子1・島田浩章3・門脇光一1 (1.農生生物資源研究所、2.愛知学院大・情報社会政策、3.東京理大・生物工)</p>	<p>◆座長 丸橋 亘 (茨城大農)</p> <p>516 4倍体 <i>Primula denticulata</i> (2n=4x=44) と <i>P. rosea</i> (2n=2x=22) の正逆種間交配で生じた雑種に見出される倍数性の変異 ○林麻衣1・加藤淳太郎1・蟹井崇司1・三位正洋2 (1.愛知教育大生物、2.千葉大園芸)</p> <p>517 <i>Raphanus sativus</i>-<i>Brassica oleracea</i> MAL (2n=19)のg染色体と <i>Brassica oleracea</i> 染色体連鎖地図との対応 ○須永亜矢子1・高木千明2・藤岡隆司2・金子幸雄1・房 相佑1・松澤康男1 (1.宇大農、2.(株)みかど育種農場)</p> <p>518 アブラナ科近縁野生種と <i>Brassica rapa</i> および <i>B. oleracea</i> 近交系との交雑親和性と雑種後代の作出 ○鄭 凡喜1・房 相佑1・新倉聡2・金子幸雄1・松澤康男1 (1.宇大農、2.(株)トーホク)</p> <p>519 アブラナ科種間キメラに由来するCMSのオルガネラゲノム解析 ○太田雄三1・保木祐樹2・千葉典子2・栗田樹2・平田豊2 (1.東京農工大・連大 2.東京農工大・国際環境農学)</p>	<p>◆座長 鈴木 徹 (野菜茶業研)</p> <p>616 イネ野生種 <i>O.rufipogon</i> (IRGC-Acc104814)のいもち病抵抗性に関するQTL解析 ○平林秀介1・出田収1・佐藤宏之1・根本博1・井辺時雄1・小川紹文2 (1.作物研、2.近中四農研)</p> <p>617 イネいもち病圃場抵抗性に関するQTL <i>qBR4-2</i> の戻し交雑系統を用いた遺伝解析 ○福岡修一1・工藤悟2・奥野員敏1 (1.生物研、2.愛知農総試山岡)</p> <p>618 イネいもち病抵抗性遺伝子 <i>Pish</i> のマッピング 荒木悦子, M.J.T.Yanoria, L.A.Ebron, D.Mercado-Escueta, 高井俊之, ○福田善通 (IRRI)</p> <p>619 イネ由来の選抜マーカー遺伝子と組織特異的プロモーターを用いた病害抵抗性組織発現イネの作出 ○川田元滋1,2・吉田均1・園田亮一1・平八重一1・森浩一1・水本真由美1・内田英史1・井沢典彦3・大島正弘4・大槻寛1・矢野治1・田中喜之5・田中有司1・黒田映4 (1.中央農研、2.新大院自然科学、3.クミアイ化学株、4.作物研、5.生物研)</p>	<p>◆座長 小松田篤夫 (生物研)</p> <p>716 アフリカ産野生イネ <i>Oryza longistaminata</i> に見出された花粉キラー-S13の遺伝解析 ○小出陽平・西本大祐・齋藤久美・大西一光・佐野芳雄 (北大農研)</p> <p>717 イネの交雑不親和性の解析: 第6染色体短腕上の雌と雄の反応性を決定する因子群 ○松原一樹・池永充伸・佐野芳雄 (北海道大学大学院 農学研究所 応用生命科学専攻 植物育種学分野)</p> <p>718 シロイヌナズナ雄性不稔変異体 <i>faceless pollen-1</i> は滑らかな花粉表面とアセトリン処理に感受性なエキシンを持つ ○有泉亨1・畠山勝徳2・日向康吉3・佐藤修正4・加藤友彦4・田畑哲之4・鳥山欽哉1 (1.東北大院農学、2.農研機構野菜茶研、3.若手生工研、実用技術探種研、4.かずさDNA研究所)</p> <p>719 トレニア種間雑種の染色体動態1. トレニア雑種接合子における親由来染色体の空間分離 ○菊池真司・岸井正浩・清水美幸・辻本壽 (鳥取大農)</p>
<p>◆座長 笹沼恒男 (横浜市大木原)</p> <p>420 コムギ及びコムギ祖先種における <i>DFR</i> (<i>dihydroflavonol 4-reductase</i>) 遺伝子非翻訳領域配列の比較解析 ○大西成人・水見英子・野田和彦 (岡山大学大学院)</p> <p>421 ラオスにおける野生イネ集団間の遺伝的交流について ○武藤千秋1・黒田洋輔2・Hathairat Urairong 3・佐藤洋一郎4 (1.岐阜大院連農、2.京大院ASAFAS、3. PathumThani Rice Research Center、4.静岡大)</p> <p>422 アワの <i>GBSS1</i> 遺伝子の変異と地理的分布 ○河瀬真琴1・福永健二2,3・加藤謙司2 (1.生物研、2.岡山農大、3.フランス国立レンヌ第一大 (現所属))</p> <p>423 皮膚性遺伝子に密接に連鎖した分子マーカーによる裸ムギの起源の推定 ○菊池慎一1・粟山貴也1・山本 傑1、一井真比古1、川崎信二2,3、武田 真1,2 (1.香川大農、2.CREST、3.生物研)</p>	<p>◆座長 金子幸雄 (宇都宮大農)</p> <p>520 Q染色体特異的DNAマーカーを用いたタバコモノソミック系統の鑑別 ○手塚孝弘・小野里桂・脇下さおり・丸橋亘 (茨城大農)</p> <p>521 タバコ属種間雑種 (<i>Nicotiana langsdorffii</i> × <i>N. tabacum</i>) の温度感受性致死に見られるアポトーシス ○渡邊仁至・丸橋亘 (茨城大農)</p> <p>522 雑種致死を発現するタバコ雑種細胞 (<i>Nicotiana suaveolens</i> × <i>N. tabacum</i>) に対する熱処理の影響 ○小堀智史・増田優・丸橋亘 (茨城大農)</p> <p>523 cDNA サブトラクション法を用いた <i>Nicotiana suaveolens</i> × <i>N. tabacum</i> の細胞における雑種致死特異的遺伝子群の同定 ○増田 優1・山田 哲也23・手塚孝弘1・久保山 勉1・丸橋 亘1 (1.茨城大農、2.農研機構花き研、3.学振科技特別研究員)</p>	<p>◆座長 坂 智広 (国際農研)</p> <p>620 イネ系統「WSS2」が保有する紋枯病抵抗性に関するQTL解析 ○佐藤宏之1・出田収1・安東都男1・國廣史2・平林秀介1・若野正敏3・宮坂篤3・太田久絵1・根本博1・井辺時雄1 (1.作物研、2.北農研、3.中央農研)</p> <p>621 人為突然変異の利用によるイネ白葉枯病抵抗性品種育成に関する研究。20. 突然変異系統M95におけるイネ白葉枯病耐性遺伝子の物理的マッピング ○山本敏博1,2・松本憲浩1, 3・平野清1, 4・藤村達人5・中井弘和1 (1.静岡大農、2.現.日本生協連、3.現.はごろもフーズ株、4.現.九州沖繩農研、5.筑波大農林工)</p> <p>622 野生イネを用いたイネ籾葉枯病抵抗性に関する遺伝解析 前田英郎1・平林秀介2・根本博2・松下 粟1・飯田修一1・春原嘉弘1・梶亮太3・小川紹文1 (1.近中四農研、2.作物研、3.九州農研)</p> <p>623 リョクトウ虫害抵抗性遺伝子 <i>Bt</i> 座近傍のSNPsによる高密度連鎖地図の作成 ○寺石政義1・加賀秋人2・川崎信二2・石本政男1 (1. 近畿中国四国農業研究センター、2.生物研)</p>	<p>◆座長 村井耕二 (福井県大)</p> <p>720 イネ胚珠分化における <i>OVULELESS</i> 遺伝子の機能 ○山本辰一郎・長戸康郎 (東大農学生命科学)</p> <p>721 イネ胚発生パターン変異体の解析 ○丸尾嘉宏・長戸康郎 (東大農学生命科学)</p> <p>722 <i>Tulipa gesneriana</i> (2n=2x=24)の胚乳は二倍性である ○水落仁・岡崎桂一 (新潟大農)</p> <p>723 イネ子葉鞘のプログラム細胞死におけるカルシウムイオンの関与 ○鈴木一正1・辻寛之1・平井篤志2・堤伸浩1・中野幹生1 (1.東大農学生命科学、2.名城大学農学部)</p>
<p>◆座長 河瀬真琴 (生物研)</p> <p>424 アジア野生イネ (<i>Oryza rufipogon</i>) の自生地集団でみられたヘテロシスの現象 ○黒田洋輔1・佐藤洋一郎2・Chay Bounphanousay3・河野泰之4・田中耕司4 (1.京大AA研、2.静岡大農、3.ラオス国立農業センター、4.京大東南農研)</p> <p>425 赤米品種の低温土中出芽性に関する遺伝資源としての有用性 ○山口琢也・蛇谷武志・表野元保・山本良孝 (富山県農業技術センター)</p> <p>426 Genetic diversity of aromatic rice cultivars in Cambodia and its surrounding areas. ○Chan Sokty1, Yutaka Hirata1, Vo Cong Thanh2, Nguyen Loc Hien1, Duong Thi Re2. (1. Graduate School of Agriculture, TUAT, 2. Cantho University Vietnam)</p> <p>427 イネ3染色体多型領域とアインザイム遺伝子にみられる連鎖不平衡について ○石川隆二1・土岐尚子1・青木 崇1・千田峰生2・赤田辰治2・原田竹雄1・新聞 稔1 (1. 弘大農学生命、2. 弘大遺伝子実験施設)</p>	<p>◆座長 三位正洋 (千葉大園芸)</p> <p>524 タイ国の野生芝草 (<i>Polytrias aumaura</i>) と日本シバ (<i>Zoysia sp.</i>) との属間雑種の特性について ○松永孝幸・松田靖・村田達郎・日向加奈・長野克也 (九州東海大農)</p> <p>525 エンバクの再分化系及び形質転換法の確立 ○山田哲也1・櫻井美奈子1・長谷川久和2・小松晃1,3・川岸万紀子1,3・若狭暁1,3 (1.CREST、2.北興化学開発研、3.作物研)</p> <p>526 パヒアグラスの遺伝子組換え体における導入遺伝子の発現解析 ○権藤崇裕・明石良 (宮大農)</p> <p>527 シイタケ <i>Lentinula edodes</i> の形質転換系における種々の改善 ○中川真達・藤本洋介・種坂英次・吉田元信 (近畿大・農)</p>	<p>◆座長 平林秀介 (作物研)</p> <p>624 大麦萎縮病抵抗性遺伝子 <i>rym1</i> と <i>rym5</i> のBaYMVに対する相互作用 ○岡田吉弘・金谷良市・荒井正一・伊藤一敏 (サッポロビール植工研)</p> <p>625 オオムギ赤かび病抵抗性の発現と選抜 ○堀清純・佐藤和広・武田和義 (岡大資生研)</p> <p>626 秋播コムギの雪腐大粒菌核病抵抗性の室内検定法 ○入来規雄・川上顕・西尾善太・寺見文宏 (北海道農研)</p> <p>627 トウガラシ (<i>Capsicum</i>) における高辛味系統特異的発現遺伝子の解析 ○郎亞琴1・柳川諭史2・笹沼恒男1・笹原哲夫1 (横浜市大・木原生研、2.トキタ種苗)</p>	<p>◆座長 大澤 良 (筑波大農林)</p> <p>724 イネ極早生突然変異系統X61の感光性抑制遺伝子 ○奥本裕・中山拓・西田英隆・中崎鉄也・谷坂隆俊 (京大農学農学研究所)</p> <p>725 イネ種子へのH2O2処理による初期成長の向上 ○佐々木和浩1,2 岸幸枝1 (1.東北大院農、2.現東北大院生命)</p> <p>726 オオムギ閉花性の遺伝に関する仮説 ○Yerlan Turuspekov1、間野吉郎2、本多一郎3、渡邊好昭1、小松田篤夫4 (1.作物研、2.畜草研、3.野菜茶研、4.生物研)</p> <p>727 チャの種内交配における受精から結実までの過程について 池田奈美子 (野菜茶研)</p>

2日目(9月20日)午前			
9月20日	第1会場 (B209教室)	第2会場 (K202教室)	第3会場 (K201教室)
11:24	<p>◆座長 藤田雅也(作物研)</p> <p>128 ダイズのHIFsを用いたDt-1とE3のマッピング ○渡辺啓史1・夏正俊2・坪倉麻隆2・山中直樹3・原田久也1,2(1.千葉大院自然科学, 2.千葉大園芸, 3.国際農研)</p>	<p>◆座長 三浦秀穂(帯広畜産大)</p> <p>228 イネ無胚乳変異体を用いた胚乳形成に関与する遺伝子の単離 ○近藤博明・高原美規・山元皓二(長岡技術科学大・工)</p>	<p>◆座長 高牟礼逸朗(北大農)</p> <p>328 RNAドットプロット分析によるダイズわい化ウイルスの検出法 ○山岸紀子1・寺内英貴2・酒井淳一1・日高操1(1.東北農研, 2.科技団)</p>
11:36	<p>129 イネ第4染色体長腕における出穂関連遺伝子座のQTLマッピング 斎藤浩二1・黒木慎1・葉昌榮2・戴陸園2・早野由里子1・船附雅子1・三浦清之3(1.北農研, 2.雲南省農業科学院, 3.中央農研)</p>	<p>229 AMFとSAGEによる酒米の胚乳発達過程における遺伝子発現の解析 ○川村雅志1, 寺内良平2, 松村 英生2, 吉田晋弥3, 中村千春1, 森直樹1(1.神戸大農, 2.若手県生工工学研究センター, 3.兵庫県農林水産技術総合センター)</p>	<p>329 イネの低温出芽性検定において種子の萌芽状態が評価に及ぼす影響 ○片岡知守・山口誠之(東北農研)</p>
11:48	<p>130 短日条件下で検出された新規なイネ出穂期関連遺伝子座<i>Hd15</i>の連鎖解析 ○宇賀優作1・野々上慈徳2・佐藤久美3・遠藤貴司4・神田伸一郎5・蛭谷武志6・矢野昌裕1(1.生物研, 2.農林水産先端研, 3.山形農試庄内支場, 4.宮城古川農試, 5.青森農試藤坂支場, 6.富山農技センター)</p>	<p>230 イネ胚乳中のグルコース-6-リン酸イソメラーゼをコードするcDNAのクローニングと発現解析 高橋あき子, 笹原健夫, ○阿部利徳(山形大農)</p>	<p>330 イネいもち病真性抵抗性遺伝子<i>Piz</i>と連鎖するSNPマーカーを用いた<i>Piz</i>保有系統の育成 ○橋本憲明1,4, 大源正明1, 林敬子2, 芦川育夫2,3, 高原美規4, 山元皓二4(1.新潟農総研, 2.中央農業総合研究セ, 3.新潟大学, 4.長岡技術科学大学)</p>
12:00	<p>131 イネの穂ばらみ期耐冷性遺伝子<i>qCT-7(t)</i>の連鎖解析 ○上田忠正1・千葉文弥2・遠藤貴司2・蛭谷武志1・竹内善信3・佐々木都彦2・永野邦明2・矢野昌裕1(1.生物研, 2.宮城古川農試, 3.STAFF研)</p>	<p>231 チャのアンモニウムトランスポーター遺伝子の単離と解析 ○谷口都也・田中淳一(野菜茶研(札幌))</p>	<p>331 他種作物における品種識別ならびにF1純度検定に適した品種育成法の提案:ネギを事例として ○塚崎光・福岡浩之・Song Yeon-Sang・山下謙一郎・小島昭夫(野菜茶研)</p>

2日目(9月20日)午後			
9月20日	第1会場 (B209教室)	第2会場 (K202教室)	第3会場 (K201教室)
13:00	<p>◆座長 斎藤浩二(北農研)</p> <p>132 コムギの5D染色体長腕に座乗する第2の春播性遺伝子<i>Vrn4</i>のマッピング ○加藤謙司1・山下美穂1・石本慶一郎1・吉野照道1・藤田雅也2(1.岡山大農, 2.作物研)</p>	<p>◆座長 中國幹生(東大農学生命)</p> <p>232 ハマダイコン及びハツカダイコンから単離されたコセナ穏性回復遺伝子(<i>orf687</i>)ホモログの構造解析 ○寺地徹1・長島隆晴1・梅田哲也2・山岸博1(1.京産大工, 2.京都府大人環)</p>	<p>◆座長 林 武司(生物研)</p> <p>332 ソバにおける離散粒性の遺伝解析 ○松井勝弘・手塚隆久・原真洋(九州農研)</p>
13:12	<p>133 オオムギカゼインキナーゼ2<math>\alpha</math>, <math>\beta</math>サブユニット遺伝子のマッピング 赤坂伸子1, ○加藤清明1, 木藤新一郎2, 三浦秀穂1・沢田壮兵1(1.帯広畜産大, 2.若手大農)</p>	<p>233 イネ穏性回復遺伝子<i>Rf-1</i>の単離 ○小森俊之・高倉由光・倉屋芳樹・鈴木庄一・太田象三・村井宣彦・樋井祐弘・今関英雅・新田直人(JT植物イノベーションセンター, オリノバ)</p>	<p>333 離散粒性ソバ系統選抜のためのDNAマーカーの開発 ○桐生優子1,4, 松井勝弘2, 小松田隆夫3・倉内伸幸4・大谷敬郎5・手塚隆久2(1.九大農学, 2.九州農研, 3.生物研, 4.日大生資, 5.食総研)</p>
13:24	<p>134 オオムギP23k遺伝子のマッピング ○神崎比呂1, 加藤清明1, 木藤新一郎2, 沢田壮兵1, 三浦秀穂1(1.帯広畜産大, 2.若手大農)</p>	<p>234 テンサイ穏性回復核遺伝子<i>Rfx</i>を含む260kbp領域の塩基配列分析 ○松平洋明・上田実・萩原栄輝・久保友彦・三上哲夫(北大農)</p>	<p>334 レトロトランスポゾンTos17の転移により生じたイネ出穂期突然変異体の解析 ○村田和優1・宮尾安藤2・廣近洋彦2・森松敬1(1.富山農技セ, 2.生物研)</p>
13:36	<p>135 イネ培養細胞における高再分化能関連遺伝子座領域の解析 ○小沢恵二郎1・川東広幸2(1.北農研, 2.生資研)</p>	<p>235 EST情報を利用したバンコムギNdrプロテインキナーゼ遺伝子のクローニング ○今井雄大, 寺地 徹(京産大工)</p>	<p>335 イネ小穂の形態形成に関わる突然変異遺伝子の相互作用 -<i>abl(t)</i>(2重外穎), <i>eg1</i>(過剰穎-1)および<i>hvp(t)</i>(発育停止穂)- 高牟礼逸朗(北大農)</p>
13:48	<p>◆座長 田中淳一(野菜茶業研)</p> <p>136 ソバの異型花柱性遺伝子座領域のゲノム解析 ○相井城太郎1,2・長野美緒3・Clayton Campbell4・清水顕史1・足立菜々5・川崎信二1(1.生物研, 2.学振・科技特, 3.近畿大生理工, 4.カナダ・ケイト研究所, 5.大阪府大院・農生命科学)</p>	<p>◆座長 植松千代美(大阪市大植物園)</p> <p>236 サツマイモにおけるGypsy型レトロトランスポゾン配列の解析 ○國米修平1・田原誠2・植木英雄3(1.岡大自然科学, 2.岡大農, 3.近畿中四国農研センター)</p>	<p>◆座長 宮尾安藤雄(生物研)</p> <p>336 エンバクの野生型から栽培型に移入された新しい矮性遺伝子の対立性検定 ○栗山 恰・森川 利信・榎本 勲(大阪府大院農学生命科学)</p>
14:00	<p>137 野生イネ<i>Oryza rufipogon</i>由来の脱粒性遺伝子のマッピング ○二村直人1・石川亮2・上島裕志3・石井尊生3(1.神戸大院自然科学, 2.奈良先端大, 3.神大農)</p>	<p>237 サツマイモのカルスで転移するレトロトランスポゾンの同定 ○田原誠1・松永早智2・青木孝博3・田中勝4・鈴鹿真也5(1.岡大農, 2.カバヤ食品, 3.日本電子, 4.九州沖縄農研センター, 5.エスケー食品)</p>	<p>337 シュードテストクロス法における効率的なQTL解析法 ○林武司・粟田崇(生物研)</p>
14:12	<p>138 オオムギ小穂非脱落性遺伝子の高精度比較マップ ○Perumal Azhaguvelil, Dhanasekaran Vidya Saraswathi1, Natesan Senthil1, Congfen He1, 小松田隆夫1,2(1.生物研, 2.CREST)</p>	<p>238 イネの易変性ピレスセント変異の同定 ○榎根一夫1・前川雅彦2・飯田滋1(1.基生研・2.岡山大学農生研)</p>	<p>338 秋まきネギの初期生育に関するQTL解析 ○小原隆由1・塚崎光1・若生忠幸1,2・Song Yeon-Sang1・山下謙一郎1・小島昭夫1(1.野菜茶研, 2.現技会事務局)</p>
14:24	<p>139 イネゲノム配列を用いたコムギ<i>Wx-B1</i>座極近傍に座乗するDNAマーカーの作成 ○石川吾郎・齊藤美香・中村俊樹(東北農研)</p>	<p>239 サツマイモ<i>dihydroflavonol 4-reductase (DFR)</i>遺伝子の単離と構造解析 ○田中勝1・中谷誠2・中澤芳則1・高畑康浩1(1.九州沖縄農研セ, 2.作物研)</p>	<p>339 コムギ-ライムギ交雑不適合性遺伝子のマッピング ○笹原健夫・渡辺直子(横浜市大・木原生研)</p>

2日目(9月20日)午前

第4会場 (K302教室)	第5会場 (K301教室)	第6会場 (K402教室)	第7会場 (K401教室)
<p>◆座長 野田和彦 (岡山大学農生研)</p> <p>428 Identification of a new S-RNase and determination of its S-genotypes by PCR-RFLP in pear (<i>Pyrus pyrifolia</i>) ○Kim H. T.1, Y. Hirata1 and I. S. Nou2 (1. United graduate School of Agricultural Science, TUAT, 2. Faculty of Plant Science and Production, Suncheon National University)</p> <p>429 SSRマーカーおよび葉緑体DNAマーカーを用いた岩手県ナシ属植物の遺伝的多様性 ○片山寛則1・足立志穂1・山本俊哉2・植松千代美3(1.神戸大食資源センター、2.果樹研、3.大阪大大学院)</p> <p>430 植栽間隔および樹高の異なるスギ採種園における花粉流動の解析 ○森口喜成1・谷尚樹2・平英彰1・津村義彦2 (1.新潟大自然科学、2.森林総研)</p> <p>431 DNAマーカーによるカシノの分類(V) コナラ亜属およびクワ属由来のSSRマーカーによるカシノの分類 ○大角信介1,2・佐藤洋一郎2 (1.枝大連産、2.静岡大農)</p>	<p>◆座長 若狭 暁 (作物研)</p> <p>528 組換えイネにおけるヒトラクトフェリン発現に及ぼすプロモーターの影響 ○森祐也1、保坂壮彦1、高岩文雄2、井上栄一1、安西弘行1 (1.茨城大遺伝子、2.生物研)</p> <p>529 Improving quality of Rojolele rice grains by introducing human lactoferrin gene ○Rachmawati, D.12, T. Hosaka1, F. Takaiwa3, E. Inoue1 and H. Anzai1 (1. Gene Res. Ctr., Ibaraki U., 2. Fac. Biol. Gadjah Mada Univ, Indonesia, 3. Natl. Inst. Agrobiol. Sci)</p> <p>530 ペプチドワクチンを利用したスギ花粉症緩和剤の作出 ○高岩文雄・高木英典・楊麗軍 (生物研・新生物資源創出)</p> <p>531 低プロタミン組換えイネの特性解析 ○黒田昌治1、木水真由実1、三上周子1、小林晴晴1、増村威宏2、田中国介2 (1.中央農研北陸研究センター、2.京都府立大農)</p>	<p>◆座長 遠藤 昇 (大成技術セ)</p> <p>628 高温誘導性APXa 遺伝子を過剰発現させたイネ幼苗の低温・乾燥耐性 ○佐藤裕1・松葉修一1・川口健太郎1・船附秀行1・猿山晴夫2・谷田昌隆2 (1. 北海道農研、2.北海道グリーンバイオ研)</p> <p>629 QTL解析のためのダイズ耐冷性検定法の検討 ○船附秀行・松葉修一・川口健太郎・佐藤裕 (北海道農研)</p> <p>630 イネマイクロアレイを用いた耐凍性の異なるコムギ品種間における低温適応性関連遺伝子の解析 ○下坂悦生1・矢崎潤史2・藤井文子2・真保佳納子3・鳥谷善平3・長田夕子3・橋本晶子3・太田智弥2・佐藤友紀2・本田幸子2・山本公子2・坂田亮巳2・佐々木卓治2・岸本直己2・菊池尚志2 (1. 北海道農研、2. 生物研、3. STAFF研)</p> <p>631 イネ穂ばらみ期耐冷性遺伝子導入系統に認められる地下部低温耐性 ○山本康二1・奥本 裕1・前川雅彦2・中崎鉄也1・谷隆俊1 (1. 京都大学農学研究所、2. 岡山大学農生研)</p>	<p>◆座長 岡崎桂一 (新潟大農)</p> <p>728 Variation analysis of flower characteristics in the cultivars of <i>Brassica rapa</i> L. ○Syafaruddin 1., A. Horosaki2, N. Tanaka2, S. Niiкура2, R. Ohsawa1.(1. Inst. Agr &amp; Forest., U. Tsukuba, 2. Tohoku seed Co.)</p> <p>729 ダイコンの花器形態の品種間変異 ○小林喜和1・堀崎敦史2・田中紀史2・新倉聡2・大澤良1 (1. 筑波大学農林学系、2. 樹トホク)</p> <p>730 キャベツ×ハボタンのF2集団を用いた結球性の遺伝分析 ○田中紀史・新倉 聡 (樹トホク)</p>

2日目(9月20日)午後

第4会場 (K302教室)	第5会場 (K301教室)	第6会場 (K402教室)
<p>◆座長 佐藤洋一郎 (静岡大農)</p> <p>432 SSRマーカーを用いたアズキ栽培-雑草-野生雑草の解析. 3. 自生集団内の遺伝構造からみた遺伝子浸透 ○Jonson-Miranda, Gilda.・加賀秋人・Ouk K. Han・伊勢村武久・Nonnatus.S. Bautista・Paul.L. Sanchez・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan (生物研)</p> <p>433 イネ属C Oゲノム種の解析に利用可能なA Aゲノム種由来の分子マーカー ○Bautista, S. Nonnatus・Paul.L. Sanchez・Jonson-Miranda, Gilda.・伊勢村武久・加賀秋人・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan (生物研)</p> <p>434 RFLPに基づく世界のイネ・コアコレクシヨンの作成 ○小島洋一朗1、江花薫子1、松井崇晃2、福岡修一1、長峰司1、河瀬眞琴1 (1. 生物研、2. 新潟作物研)</p> <p>435 イネ品種判別におけるSSR マーカーの利用 ○杉田恒1・河野朋恵1・河野いづみ2・竹内善徳2,3・矢野昌裕4・堤省一朗1・岩下喜朗1・長田龍太郎1・加藤浩1・轟薫1 (1.宮崎総農試、2.農林水産先端研、3.現作物研、4.生物研)</p>	<p>◆座長 力石和英 (岡山大学農生研)</p> <p>532 <i>In-Planta</i> Transformation of Rice AGPase Subunit Genes on Sweetpotato [<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.] ○Lalusin, A.1, J.Hu2, T. Akihiro2, and T. Fujimura3(Doc. Deg. Prg. Life and Envnt. Sci, 2. Doc. Deg. Prg. Agric. Sci., 3. Inst. Agric. Eng., U.Tsukuba)</p> <p>533 ジャガイモ澱粉合成酵素 (GBSS)遺伝子を導入した日本晴モチ後代の解析 ○島谷千礼1・鈴木保宏2・平野博之3・井上栄一1・安西弘行1 (1.茨城大遺伝子、2.農研機構・作物研、3.東大院農学生命)</p> <p>534 遺伝子組換えにより作出したモチサツマイモの解析 ○大谷基泰1・濱田達朗1・片山健二2・高畑康浩2・島田多喜子1 (1.石川農短大農研、2.九州農研)</p> <p>535 <i>Aspergillus nidulans</i> 由来グルタミン酸脱水素酵素遺伝子を導入したバレイシヨの作出と解析. ○木坂広明・秋山 愛・三輪哲也 (味の素健康基盤研究所)</p>	<p>◆座長 笹原哲夫 (横浜市大木原)</p> <p>632 原麦、麦芽および麦汁中のアラビノキシラン含量簡易分析法の開発 ○関和孝博1・渡邊修孝1・加藤常夫1・小前幸三2・長嶺敏1 (1.栃木農試栃木分場、2.農研機構・作物研)</p> <p>633 ビール大麦における酵素力およびエキスのDNAマーカー選抜 ○金子隆史1・小山内英一2・寺村好司3・江川雅徳4・伊藤一敏1 (1.サッポロビール植工研、2.キリンビール生産本部、3.キリンビール技術開発部、4.キリンビール醸造研)</p> <p>634 オオムギ種子リポキシングナーゼの研究 IV. LOX-1欠失オオムギの醸造特性 ○廣田直彦1・黒田久夫2・嶋井潔3・金子隆史1・金田弘孝2・高塩仁愛2・伊藤一敏1・武田和義4 (1. サッポロビール(株)植工研、2. サッポロビール(株)フロンティア研、3. サッポロビール(株)生産・技術開発センター、4. 岡大農生研)</p> <p>635 オオムギ種子中におけるβ-アミラーゼ熱安定性と遊離型/結合型β-アミラーゼ活性との関連 ○木原誠1・岡田吉弘1・小田俊介2,3・関和孝博3・金子隆史1・朝倉隆司1・伊藤一敏1(1.サッポロビール(株)植工研、2.現農林水産技術会議、3.栃木農試栃木分場)</p>
<p>◆座長 加賀秋人 (生物研)</p> <p>436 タンデム型DNA反復配列の遺伝子座に基づいた栽培イネ(<i>O. sativa</i>)の細胞学的多様性 中山繁樹 (生物研)</p> <p>437 ミャンマーに自生する野生イネの多様性評価 2. SSR座の変異について ○菊池幹之・穴戸理恵子・野村和成・池橋宏 (日本大生物資源)</p> <p>438 野生イネでみられた葉緑体およびミトコンドリアマイクロサテライト座における多様性 ○隈本寿彦1・佐藤雅志2・石川隆二3・佐藤洋一郎4・上島精志5・石井尊生5 (1.神戸大院自然科学、2.東北大生命科学、3.弘前大農学生命、4.静岡大農、5.神戸大農)</p> <p>439 栽培および野生イネのPoll 遺伝子におけるSNP多型の変異 ○高橋弘子・中村郁郎 (千葉大自然科学)</p>	<p>◆座長 石本政男 (近中四農研)</p> <p>536 ダイコンの雄性不稔遺伝子orf138を持つタバコ形質転換体の分子遺伝学的解析 ○佐伯泰子、山岸博、寺地徹 (京産大工)</p> <p>537 ω-3脂肪酸不飽和化遺伝子FAD8 を葉緑体ゲノムに持つ形質転換タバコの作出 ○郭長虹1 椎名 陸2 小宮 直彦1 黒坂 光1 山岸 博1 寺地 徹1 (1. 京産大工、 2. 京府大人環)</p> <p>538 野生ビート由来雄性不稔株に固有のミトコンドリアorf129 遺伝子を発現する形質転換植物の表現型 ○品田博史・久保友彦・三上哲夫 (北大院農)</p> <p>539 変異型ダイナミン様タンパク質による巨大ミトコンドリアを持つ植物の作出 ○藤本優・有村慎一・中園幹生・堤伸浩 (東大院農学生命科学)</p>	<p>◆座長 金子隆史 (サッポロビール)</p> <p>636 RVAによるもち性オオムギのデンプン粘度特性の系統間差および塊粉歩合の異なる分画による差 ○柳沢貴司1・土門英司2・藤田雅也3・乙部千雅子3・高山敏之1・土井芳憲1(1.近中四農研、2.九州沖縄農研、3.作物研)</p> <p>637 サツマイモ低温糊化澱粉品種「クイックスイート」の交雑後代の澱粉特性 ○片山健二1・田宮誠司2・中谷誠2 (1. 農研機構九州沖縄農研、2.農研機構作物研)</p> <p>638 小麦の節間伸長期における土壌過湿処理が小麦粉粒度に及ぼす影響 ○吉田朋史1・藤田雅也2・辻孝子1・深谷勝正1・藤井潔1 (1.愛知農総試 2.農研機構作物研)</p> <p>639 インディカ型及びジャポニカ型イネ品種の間に見られる登熟期間中のデンプン蓄積速度の差について 大飼 剛 (北大院農学)</p>

2日目(9月20日)午後			
9月20日	第1会場(B209教室)	第2会場(K202教室)	第3会場(K201教室)
14:36	<p>◆座長 加藤雄司(岡山大学)</p> <p>140 Use of molecular markers for resistance breeding in potato XII. Application of PBA and RGL markers. ○Yamanaka, S.1, S. Ikeda1, A. Imai1,2, Y. Luan1, J. A. Watanabe1 and K. N. Watanabe1 (1. Gene Res. Ctr., Univ. of Tsukuba, 2. Fruit Res.Inst., NARO)</p>	<p>◆座長 飯田 滋(基生研形質統御)</p> <p>240 コムギ属植物における<i>Mutator</i> 様転移因子の構造と分布の解析 ○朝倉史明1・吉田晋弥2・大塚一郎1・中村千春3(1.神奈川大工、2.兵庫県農林水産総合センター、3.神戸大農)</p>	<p>◆座長 藤野賢治(北海道グリーンバイオ)</p> <p>340 2倍体コムギ種 <i>Triticum monococcum</i> における種子休眠性QTLのマッピング ○三浦秀穂1・金丸京平1・加藤清明1・笹原哲夫2(1.帯広畜大、2.横浜市大木原生研)</p>
14:48	<p>141 イネいもち病真性抵抗性遺伝子<i>Pii</i>に関連するDNAマーカーの作出 ○安ヶ平紀子1、多田徹1、仲谷房治1、阿部潤1(1.岩手農研セ)</p>	<p>241 イネゲノムにおけるメチル化状態の比較・分布解析 ○高田美和子・高木恭子・佐野芳雄・黄島祐治(北大院農)</p>	<p>341 二倍体および六倍体コムギにおける種軸脆弱性の変異 ○大西都実1・本江昭夫1・三浦秀穂1・笹原哲夫2(1.帯広畜大、2.横浜市大木原生研)</p>
15:00	<p>142 チャ品種「さやまかおり」由来のクワシロカイガラムシ抵抗性に連鎖するDNAマーカーの開発とマーカー選抜 ○田中淳一1・重光雄2・上園浩2・谷口郁也1・水田隆史3(1.野茶研(枕崎)、2.鹿児島茶試、3.宮崎総農試茶業)</p>	<p>242 イネ核ゲノムにおけるミトコンドリアゲノムとの相似配列解析 ○西川智太郎、門脇光一(農業生物資源研究所)</p>	<p>342 オオムギ雲形病における量的抵抗性のQTL解析 ○山下陽子・福山利範(新潟大農)</p>
15:12	<p>143 コムギの赤かび病抵抗性に関連するSTSマーカーの開発 ○許東河・坂智広(国際農研)</p>	<p>243 イネ第12染色体に存在する巨大ミトコンドリアゲノム断片の構造解析 ○上田実1,2・堤伸浩2・門脇光一(1.農業生物資源研究所、2.東大農学生命科学)</p>	<p>343 自然日長におけるオオムギ早晩性のQTL解析 ○塔野岡卓司1、吉田めぐみ1,2、河田尚之1,2、石井 誠3、武田和義3(1.農研機構作物研、2.九州沖縄農研、3.岡大資生研)</p>
15:24	<p>◆座長 半田裕一(生物研)</p> <p>144 Inbreeding of an outbreeding diploid potato monitored by using DNA markers ○Phumichai, C. and K. Hosaka (Food Resour. Edu. Res. Ctr., Kobe U.)</p>	<p>◆座長 江面 浩(筑波大農林)</p> <p>244 イネゲノム上のCpG cluster解析より示されたゲノムのセグメント構造 ○芦川育夫1,2・沼 寿隆3・坂田克己3,4(1.中央農研、2.新潟大学、3.農生資研、4.三菱スペースソフト)</p>	<p>◆座長 中崎鉄也(京大農)</p> <p>344 日交雑系統を用いた、米の食味形質に関するDNAマーカー ○和田卓也・内村要介・尾形武文・坪根正雄・浜地勇次・松江勇次(福岡農総試)</p>
15:36	<p>145 合成パンコムギのミトコンドリアDNA領域で見られる父型プラスモン配列と母型プラスモン配列との組み換え ○岸田匡1・北川師士1・服部宣明1・宅見薫雄1・朝倉史明2・河原大八3・中村千春1(1.神戸大農、2.神奈川大工、3.京都大生研)</p>	<p>245 イネ病害抵抗性反応における細胞死調節因子OsRac1の発生段階における発現と機能 ○森野和子1、島本 功2、佐藤 光3、川田元滋1(1.中央農研、2.奈良先端大バイオ、3.九州大農学)</p>	<p>345 ミアミロペクチンの超長鎖合成の遺伝解析 ○青木法明1、梅本貴之1、石井尊生2、吉田晋弥3、上島裕志2、松倉潮1、井ノ内直良4(1.作物研、2.神戸大、3.兵庫農技総セ、4.福山大)</p>
15:48	<p>146 Analysis of the ancestor of cultivated rice using chloroplast sequence. ○Masood, S., T. Nishikawa, P. K. Njenga and K. Kadowaki (Natl. Inst. Agrobiol. Sciences)</p>	<p>246 イネ冠水応答性遺伝子におけるヒストン修飾の解析 ○辻寛之1・堤伸浩1・平井篤志2・中園幹生1(1.東大農学生命科学、2.名城大学農学部)</p>	<p>346 イネ低温発芽性の遺伝解析 藤野賢治(北海道グリーンバイオ研究所)</p>
16:00	<p>◆座長 加藤清明(帯広畜産大)</p> <p>147 生物研イネゲノムリソースセンターからの研究材料提供について ○長村吉晃1・宮尾安藝雄1・B.A.アントニオ1・島谷善平2・橋本晶子2・佐々木卓治1(1.生物研、2.農林水産先端研)</p>	<p>◆座長 水見英子(岡山大資生研)</p> <p>247 トマトおよびナンのヨシ糖合成酵素遺伝子プロモーターの特性 ○大山曉男1・榎瀬幸司2・諏訪部圭太1・國久美由紀1・布目司1・平井正志1,3・福岡浩之1(1.野茶研、2.花き研、3.京都府大農)</p>	<p>347 イネ低温発芽性のQTL解析 ○関口博史1・佐藤毅1・木内均2・野々上慈徳3・竹内善信3・安藤隆3・林少輝3・矢野昌裕4・藤野賢治1(1.北海道グリーンバイオ研究所・2.上農総試・3.農林水産先端研・4.生物研)</p>
16:12	<p>148 イネミュータントパネルの利用について。データベースを用いたミュータント検索と解析のポイント ○宮尾安藝雄・廣近洋彦(生物研分子遺伝)</p>	<p>248 アントシアニン合成系遺伝子(<i>OSB2</i>)の発現レポーターとしての利用 ○島岡洋介1・川東広幸2・廣瀬咲子2・半田裕一2・坂本直3・前川雅彦3・今石浩正4・大川安信5・西村繁夫6(1.筑波大生命環境、2.生物研、3.岡山大資生研、4.神戸大農、5.技会事務局、6.筑波大農林系)</p>	<p>◆座長 福山利範(新潟大農)</p> <p>348 SSRマーカーによるイネ日印雑種におけるヘテロシス関連遺伝子座の探索 2. 粒型および粒重について ○Amr Farouk Abdelkhalik・矢戸理恵子・野村和成・池橋宏(日本大生物資源)</p>
16:24	<p>149 イネ遺伝解析用実験系統群の作成と利用 ○矢野昌裕1・野々上慈徳2・安藤隆2・清水武彦2・正村純彦2・河野いづみ2・山本伸一1・上田忠正1・蛭谷武志3・竹内善信2(1.生物研、2.農林水産先端研、3.富山県農技セ)</p>	<p>249 デサチュラーゼ様遺伝子の転写配列の5'領域による外来遺伝子発現の増強効果 ○高倉由光1・2・植木潤1・2(1.JT遺伝育種研、現2.JT植物イノベーションセンター)</p>	<p>349 アズキ近縁野生種ヒナズキが示す耐暑性のQTL解析 ○加賀秋人1・Ouk K. Han1・伊勢村武久1・塚口直史2・江川直伸3・友岡憲彦1・Duncan A. Vaughan1(1.生物研、2.新潟大農、3.国際農研)</p>
16:36	<p>150 イネ (<i>Oryza sativa</i>) 完全長cDNAデータベース (Knowledge-based Oryza Molecular biological Encyclopedia (KOME)) の利用 ○佐藤浩二1、山田に美1、大岡久子1,2、土井考爾1、永田俊文1、河合純3、Piero Carninci3、林崎良英3、大友泰裕4、村上和雄4、松原謙一4、志々木徹5、李朝傑5、大根田英祐5、矢作謙5、山本誠5、鈴木宏史5、小島恵一5、菊池尚志1(1.生物研、2.長岡技術大工学、3.理研・GSG、4.国際科学振興財団、5.日立ソフト(株))</p>	<p>250 転写活性化領域を欠失した変異<i>RISBZ1</i> (<i>rice seed b-Zipper 1</i>) 遺伝子導入イネの解析 ○山本将之・小野寺康之・大山曉男・高岩文雄(生物研)</p>	<p>350 ダイズの発芽前冠水抵抗性に関するQTL解析 ○佐山貴司・中崎鉄也・佐々木浩之・奥本裕・谷坂隆俊(京大農院)</p>
16:48	<p>151 22Kライソオリゴマイクロアレイを用いたイネ遺伝子発現解析 ○山田に美1・佐藤浩二1・大岡久子1,2・田嶋公久1・河合純3・Piero Carninci3・林崎良英3・大友泰裕4・村上和雄4・松原謙一4・田谷敏貴5・登内美穂5 Charles Nelson5・Allen Nakagawa5・菊池尚志1(1.生物研、2.長岡技術大工学、3.理研・GSG、4.国際科学振興財団、5.アジレントテクノロジー)</p>	<p>251 AFLPマーカーによるカンキツCAPS連鎖地図への統合 ○上田高則・島田武彦・遠藤朋子・藤井浩・大村三男(農研機構果樹研)</p>	<p>351 イネの第7染色体上に見出された1穂着粒数に関するQTLのマッピング ○宝田研1・蛭谷武志1・矢野昌裕2・山本孝利1(1.富山県農技セ、2.生物研)</p>

9月20日	B204教室	K302教室
17:10	グループ研究会I	グループ研究会II
↓		
19:10	<p>新しい「農の世界」を探るII. その10 素人の種採り世話人:高木俊江(東大・農)</p> <p>話題提供:山根成人(姫路市 兼農商家)</p>	<p>受粉生物学の育種への展開 4 世話人:大澤良(筑波大・農林)</p> <p>話題:赤松豊和(株)サカタのタネ掛川総研育種第2部)「野菜育種における雄性不稔性利用の現状と課題点」</p>

2日目(9月20日)午後

第4会場 (K302教室)	第5会場 (K301教室)	第6会場 (K402教室)
<p>◆座長 江花薫子(生物研)</p> <p>440 のらぼう菜の開花期に関する系統間差異 ○北浦健生1・河田隆弘1・上井憲治2・北 宜裕1(1.神奈川農総研, 2.横浜川崎遊及セ)</p> <p>441 日本産タクシ植物の遺伝育種学的研究. XIII. スホウチクの開花の様相と芽生の形質分離. 村松幹夫</p> <p>442 ナス品種識別のためのSSRマーカーによる省力的DNA多型検出法の検討 ○福岡浩之・布目司・大山暁男(野菜茶研)</p> <p>443 ISSRによるダイジョ(<i>Dioscorea alata</i>) 系統の分類 ○一谷勝之1・遠城道雄1・志和地弘信2(1.鹿児島大農, 2.国際熱帯農業研究所)</p>	<p>◆座長 高倉由光(JT植物)</p> <p>540 マメ科種子作物、ダイズおよびアズキにおける形質転換体の作出 ○Shaikh M. Rahman 1,2・Mutasim M. Khalafalla1,2・Hany A. El-Sherny1,2・中本有美2・黒田昌治3・若狭暁2,4・石本政男1,2 (1.近中四農研, 2.CREST, 3.北陸研セ, 4.作物研)</p> <p>541 ウィスカ法によるダイズ形質転換体の作出 ○Mutasim M. Khalafalla1,2・Shaikh M. Rahman1,2・長谷川久和3・寺川輝彦3・若狭暁2,4・石本政男1,2 (1.近中四農研, 2.CREST, 3.北興化学, 4.作物研)</p> <p>542 ダイズ発芽種子へのアグロバクテリウム法による脂肪酸<math>\Delta 6</math>不飽和化酵素遺伝子の導入 ○朴柄振1・櫻谷英治2・清水昌2, 田中良和3・菅野明1・亀谷寿昭1 (1.東北大院生命, 2.京大院農, 3.サントリー先技研)</p> <p>543 Effects of frequency and time of sonication on eliminating <i>Agrobacterium</i>. ○Efendi, Y. Tamura, M. Tanio, M. Sato and M. Matsuoka (JIRCAS-Okinawa)</p>	<p>◆座長 犬飼 剛(北大農)</p> <p>640 ラビッドビスコアナライザーによる小麦品種・系統のアミロース含量タイプの推定 ○藤井 潔・辻 孝子・吉田朋史・深谷勝正(愛知農総試)</p> <p>641 日本の陸稲における糊化開始温度の品種間差異について ○岡本和之・石井卓朗・眞部徹・岡野克紀・平澤秀雄(茨城農総セ 生物工学研究所)</p> <p>642 alk候補遺伝子としてのイネ澱粉合成酵素IIaにみられる自然変異の特性解析 ○梅本貴之1・青木法明1・林鴻堂2・中村保典3・井ノ内直良4・佐藤洋一郎5・矢野昌裕2・丸山幸夫1 (1.農研機構作物研, 2.生物研, 3.秋田県立大, 4.福山大, 5.静岡大)</p> <p>643 酒米品種における心白発現様式の特徴 ○池上勝・三好昭宏(兵庫県立農林水産技術センター)</p>
<p>◆座長 片山寛則(神戸大農)</p> <p>444 種子貯蔵タンパク質のSDS-PAGEバンドパターンに基づくハナハス在来品種の遺伝的変異 ○五月女望1・宍戸理恵子1・香取正人2・野村和成1・池橋宏1 (1.日本大生物資源, 2.佐原市水生植物園)</p> <p>445 NFL遺伝子(LEAFYホモログ)の塩基配列に基づくタバコ属植物(<i>Noctiflorae</i>節)の系統解析 ○角谷直人1・青木誠志郎2・川床邦夫3・和久井健司4・伊藤元己2 (1.東京農大総研, 2.東大総合文化研究科, 3.たばこと塩の博物館, 4.東京農大短大)</p> <p>446 Iris属植物における核DNA含量および体細胞多倍数性 ○井上公一1・岡武久登2・藪谷勤2(1.鹿児島大, 2.宮崎大農)</p> <p>447 サクラ属サクラ亜属におけるSSR座の種内および種間の多型 ○太田智1, 2・林建樹3・山本俊哉3・勝木俊雄4・佐藤洋一郎2 (1.岐阜大連農, 2.静大農, 3.果樹研究所, 4.森林総研・多摩森林科学園)</p> <p>448 ベンケイソウ科植物の分子系統分類に関する研究. I. PS-ID配列の解析. ○泉川康博1・児玉賢一2・三位正洋3・中村郁郎1 (1.千葉大自然科学, 2.錦玉園, 3.千葉大園芸)</p>	<p>◆座長 浅尾浩史(奈良農技セ)</p> <p>544 イネに導入したトランスポゾンDs-GUS T-DNAと転移したDs-GUSの挿入位置の解析 ○武藤景子1・森田竜平2・鳥山欽哉1 (1.東北大院農学, 2.放射線育種場)</p> <p>545 Development of a novel transformation method using bio-active beads. ○Liu H. I., A. Kawabe1, T. Murakawa2, A. Mizukami1, M. Yanagisawa1, S. Harashima1, S. Kajiya1, A. Kobatashi1, S. Matsumaga1 and K. Fukui1 (1. Dept. Biotech., Grad. Sch. Eng., Osaka Univ., 2. Sasebo Col. Tech.)</p> <p>546 <i>Agrobacterium rhizogenes</i> による矮化デルフィニウムの作出 ○塚谷延枝1・西原昌宏1・細川敏三2・長坂静1・森泉1・三柴啓一郎1・山村三郎1 ( (財) 岩手生工研, 2.兵庫大)</p> <p>547 <i>Agrobacterium rhizogenes</i> を用いた栄養系リンドウ品種への新規形質付与 ○三柴啓一郎・西原昌宏・中塚貴司・山村三郎 ( (財) 岩手生工学研究センター)</p>	<p>◆座長 藤井 潔(愛知県農総試)</p> <p>644 染色体断片置換系統群を用いた水稲玄米外観品質に関するQTL解析 ○蛸谷武志1・矢野昌裕2・表野元保1・山本良孝1(1.富山県農技セ, 2.生物研)</p> <p>645 水稲「塩選203号」の胴割れ難特性の遺伝 ○滝田 正1・長田健二2 (1.作物研究所, 2.東北農研センター)</p> <p>646 豆乳のリンおよびフィチン酸含量と凝固反応性との関係 ○戸田恭子1・中村善行1・小野伴忠2・喜多村啓介3 (1.作物研究所, 2.岩大農学部, 3.北大院農)</p>
	<p>◆座長 山村三郎(岩手生工研)</p> <p>548 エチレン受容体遺伝子を用いたキクの形質転換 ○堀池美保1・高田圭太2・江面浩3(1.筑波大院バイオシステム, 2.筑波大院生命環境, 3.筑波大農林)</p> <p>549 Unusual organization of <i>Gladiolus</i> ethylene receptor genes: gene conversion and evolution ○Arora, A. I., K. Takada2 and H. Ezura3 (1. Gene Res. Ctr., U. Tsukuba, 2. Grad. Sch. Life Env. Sci., U. Tsukuba, 3. Inst. Agri. Forest., U. Tsukuba)</p> <p>550 イチゴ「アスカルビー」およびナス台木「ヒラナス」における各種プロモーターの利用 ○浅尾浩史・都築正男(奈良農技セ)</p> <p>551 改良Bt遺伝子導入による鱗翅目昆虫高度耐性キクの作出 ○篠山治恵1・望月淳2・駒野雅保1・野村幸雄1・永井輝行1 (1.福井農試, 2.(独)農環研)</p>	

## 講演番号・座長一覧

	第1会場 B209教室	第2会場 K202教室	第3会場 K201教室	第4会場 K302教室	第5会場 K301教室	第6会場 K402教室	第7会場 K401教室
19日午前	101-105 土門英司 (9:00-10:00)	201-205 高岩文雄 (9:00-10:00)	301-305 荻原保成 (9:00-10:00)	401-405 山岸 博 (9:00-10:00)	501-505 福井希一 (9:00-10:00)	601-605 佐藤雅志 (9:00-10:00)	701-705 奥本 裕 (9:00-10:00)
	106-110 福岡浩之 (10:00-11:00)	206-210 平野博之 (10:00-11:00)	306-310 池田達哉 (10:00-11:00)	406-409 前川雅彦 (10:00-10:48)	506-510 向井康比己 (10:00-11:00)	606-610 長谷川 博 (10:00-11:00)	706-710 佐々英徳 (10:00-11:00)
	111-115 川崎信二 (11:00-12:00)	211-215 寺地 徹 (11:00-12:00)	311-315 佐藤和広 (11:00-12:00)	410-412 石川隆二 (10:48-11:24)			
				413-415 武田和義 (11:24-12:00)			
20日午前	116-119 富田因則 (9:00-9:48)	216-219 高野哲夫 (9:00-9:48)	316-319 新倉 聡 (9:00-9:48)	416-419 武田 真 (9:00-9:48)	516-519 丸橋 亘 (9:00-9:48)	616-619 鈴木 徹 (9:00-9:48)	716-719 小松田隆夫 (9:00-9:48)
	120-123 岩井純夫 (9:48-10:36)	220-223 赤田辰治 (9:48-10:36)	320-323 高橋利和 (9:48-10:36)	420-423 笹沼恒男 (9:48-10:36)	520-523 金子幸雄 (9:48-10:36)	620-623 坂 智広 (9:48-10:36)	720-723 村井耕二 (9:48-10:36)
	124-127 辻本 壽 (10:36-11:24)	224-227 木藤新一郎 (10:36-11:24)	324-327 塚崎 光 (10:36-11:24)	424-427 河瀬真琴 (10:36-11:24)	524-527 三位正洋 (10:36-11:24)	624-627 平林秀介 (10:36-11:24)	724-727 大澤 良 (10:36-11:24)
	128-131 藤田雅也 (11:24-12:12)	228-231 三浦秀穂 (11:24-12:12)	328-331 高牟礼逸朗 (11:24-12:12)	428-431 野田和彦 (11:24-12:12)	528-531 若狭 暁 (11:24-12:12)	628-631 遠藤 昇 (11:24-12:12)	728-730 岡崎桂一 (11:24-12:00)
20日午後	132-135 斉藤浩二 (13:00-13:48)	232-235 中園幹生 (13:00-13:48)	332-335 林 武司 (13:00-13:48)	432-435 佐藤洋一郎 (13:00-13:48)	532-535 力石和英 (13:00-13:48)	632-635 笹隈哲夫 (13:00-13:48)	
	136-139 田中淳一 (13:48-14:36)	236-239 植松千代美 (13:48-14:36)	336-339 宮尾安藝雄 (13:48-14:36)	436-439 加賀秋人 (13:48-14:36)	536-539 石本政男 (13:48-14:36)	636-639 金子隆史 (13:48-14:36)	
	140-143 加藤鎌司 (14:36-15:24)	240-243 飯田 滋 (14:36-15:24)	340-343 藤野賢治 (14:36-15:24)	440-443 江花薫子 (14:36-15:24)	540-543 高倉由光 (14:36-15:24)	640-643 犬飼 剛 (14:36-15:24)	
	144-146 半田裕一 (15:24-16:00)	244-246 江面 浩 (15:24-16:00)	344-347 中崎鉄也 (15:24-16:12)	444-448 片山寛則 (15:24-16:24)	544-547 浅尾浩史 (15:24-16:12)	644-646 藤井 潔 (15:24-16:00)	
	147-151 加藤清明 (16:00-17:00)	247-251 氷見英子 (16:00-17:00)	348-351 福山利範 (16:12-17:00)		548-551 山村三郎 (16:12-17:00)		